



設定マニュアル

DuraVision® DX0211-IP

IP デコーディングボックス

ソフトウェアバージョン 5.4

重要

ご使用前には必ずこの設定マニュアルおよび操作マニュアル、セットアップマニュアルをよくお読みになり、正しくお使いください。

・設定マニュアルを含む最新の製品情報は、当社のWebサイトから確認できます。

www.eizo.co.jp

マニュアルの記載内容について

セットアップマニュアル	使用上の注意、およびネットワークカメラとの接続からモニターにカメラの画像を表示するまでの設定について説明しています。
設定マニュアル（本書）※1	ネットワークカメラの登録や機能の設定、システム設定について説明しています。
操作マニュアル※1	ライブ画面のメニューの操作について説明しています。

※1 ご利用のソフトウェアバージョンの操作マニュアルおよび設定マニュアル（本書）は当社Webサイトから確認してください。「サポート」から「取扱説明書」を選択し、「製品名から検索」に「DX0211-IP」を入力して「検索」をクリックしてください。

www.eizo.co.jp

PDFファイルを見るためには、Adobe® Acrobat® Reader®のインストールが必要です。

製品の仕様は販売地域により異なります。お買い求めの地域に合った言語の取扱説明書をご確認ください。

1. 本書の著作権はEIZO株式会社に帰属します。本書の一部あるいは全部をEIZO株式会社からの事前の許諾を得ることなく転載することは固くお断りします。
2. 本書の内容について、将来予告なしに変更することがあります。
3. 本書の内容については、万全を期して作成しましたが、万一誤り、記載もれなどお気づきの点がありましたら、ご連絡ください。
4. 本機の使用を理由とする損害、逸失利益などの請求につきましては、上記にかかわらず、いかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

目次

目次	3
第1章 製品概要	5
1-1. 特長	5
1-2. システム構成	7
1-3. 対応ネットワークカメラ	7
第2章 設定の前に	8
2-1. システムにログインする	8
● この製品で設定する場合	8
● Webブラウザから設定する場合	10
2-2. 設定画面について	11
● 基本情報	11
● 本体設定	11
● ライブ画面設定	12
● ログアウト	12
第3章 システムの設定	13
3-1. ネットワーク設定をおこなう	13
3-2. 通信設定をおこなう	15
3-3. 現在の日付と時刻を設定する	17
3-4. そのほかのシステム設定	19
3-5. システムを初期化する	20
3-6. システムを再起動する	21
3-7. ソフトウェアを更新する	22
3-8. システムの設定情報を保存する	24
3-9. システムの設定情報を読み込む	25
3-10. ライセンス認証をおこなう	27
3-11. イベントルールを設定する	28
3-12. 証明書の設定をおこなう	31
3-13. リモコンのIDを設定する	33
● 製品側のIDを設定する	33
● リモコン側のIDを設定する	34
3-14. USB機器のホットキー設定をおこなう	34
3-15. IEEE 802.1X認証を設定する	36
3-16. SNMPを設定する	38
3-17. IPアドレスフィルターを設定する	40
3-18. フェイルオーバーを設定する	41
● フェイルオーバー設定	41
● カメラ登録	42
● カメラ機能設定	43
● 表示位置設定	44
● オーバーレイ設定	45
● プリセット設定	46
3-19. ログを確認する	47
3-20. ログを保存する	48
3-21. カメラの接続確認をおこなう	49
3-22. ネットワークの接続状態を確認する	50
第4章 ネットワークカメラの管理	51
4-1. ネットワークカメラを自動検出して登録する	51
4-2. ネットワークカメラを手動で登録する	52
4-3. ネットワークカメラの情報を変更する	55
4-4. ネットワークカメラを削除する	57
4-5. ネットワークカメラの情報をエクスポートする	58
4-6. ネットワークカメラの情報をインポートする	59
4-7. ネットワークカメラの時刻を設定する	61
4-8. 配信映像の画質を設定する	62
4-9. ネットワークカメラのプリセット位置を登録する	65
第5章 ライブ画面の設定	67
5-1. カメラ映像の表示位置を設定する	67
5-2. カメラ映像の表示方法を設定する	69
5-3. カスタムスクリーンのレイアウトを設定する	70
5-4. 表示するレイアウトアイコンを変更する	71
5-5. レイアウトのプリセットを設定する	72
5-6. オーバーレイを設定する	74
5-7. ライブ画面の表示方法を設定する	76
5-8. 現在のモニター表示の状態を設定する	77

5-9. ライブストリーミングを確認する	78
5-10. ライブストリーミングをリフレッシュする ...	79
第6章 ユーザーアカウントの管理	80
6-1. ユーザーアカウントを登録する	80
6-2. ユーザーアカウントを変更する	82
6-3. ユーザーアカウントを削除する	83
6-4. 自動ログインの設定をおこなう	84
6-5. LDAP設定をおこなう	85
第7章 こんなときは	87
7-1. 画面に関する症状.....	87
7-2. 設定に関する症状.....	89
機能一覧	90
付録	92
商標	92
ライセンス	92

第1章 製品概要

この製品は、最大32台のネットワークカメラ※1の映像を、HDMIケーブルで接続したモニターに出力する機器です。

本書では、ネットワークカメラの設定、システムの設定や仕様について説明します。

※1 映像をネットワーク信号に変換して伝送するカメラです。

1-1. 特長

● ネットワークカメラとの通信

- ・ 4Kカメラ（3840×2160 / 30fps）からの映像を受信可能
- ・ ネットワークカメラからの映像信号をモニターに表示可能
 - 動画圧縮形式H.264、H.265およびMJPEGに対応しています。
 - 最大48台のネットワークカメラを登録することができます。
 - 複数のネットワークカメラの映像（1面、3面、4面、9面、16面、32面、8面、カスタムスクリーン）を自由にレイアウトできます。
 - ユニキャスト方式およびマルチキャスト方式の通信方式に対応しています。
 - 映像を表示しながらカメラ映像の表示位置を入れ替えることができます。

● 4Kモニターへの出力が可能

- ・ 4K出力（3840×2160 / 最大 60 fps）に対応

● 複数種類のネットワークカメラに対応

- ・ ONVIF Profile Sに対応
- ・ ネットワークカメラメーカーのプロトコルによるカメラ制御に対応
(パナソニック社製、およびアクシス社製のネットワークカメラを接続した場合)

● システム管理

- ・ Webブラウザによるネットワークカメラの登録やライブ画面の設定が可能
- ・ 設定情報の保存および読み込みが可能
コンピュータに設定を保存し、読み込むことができます。

● イベント連携機能

- ・ イベントルール
特定のイベントをトリガーに、実行するアクションを設定できます。

● 多彩なソフトウェア拡張機能

- ・ アイコンアレンジャー
ライブ画面上のレイアウトメニューの並べ替えや削除が自由にできます。
- ・ ライブストリーミング
本体に表示している画面をWebブラウザ上で確認できます。
- ・ 画面の向き調整
モニターの設置方向（横置き / 縦置き）に合わせてカメラ映像の表示方向を回転できます。
- ・ フェイルオーバー
登録しているネットワークカメラとの通信が途切れた際に、予備のカメラに自動で切り替えることができます。

● セキュリティ

- 通信エラー検知

ネットワークカメラとの通信が途切れた際に、数秒以内にライブ画面上に赤枠のアラートメッセージを表示できます。

- ロック機能

USBデバイス、フロントキー操作、リモコン操作を無効化します。

- ネットワークセキュリティプロトコル

IEEE802.1X、SNMP、LDAPなど高レベルなセキュリティシステムの構築に必要なプロトコルに対応しています。

● セキュア通信に対応

セキュアなプロトコルであるSSL/TLSを採用。ネットワークカメラおよびWebページとの通信が、SSLおよびhttpsで暗号化されます。

また、エンタープライズライセンスを購入するとLDAP認証を使用することができます。

詳しくは、販売店またはお客様ご相談窓口にお問い合わせください。

● サポート

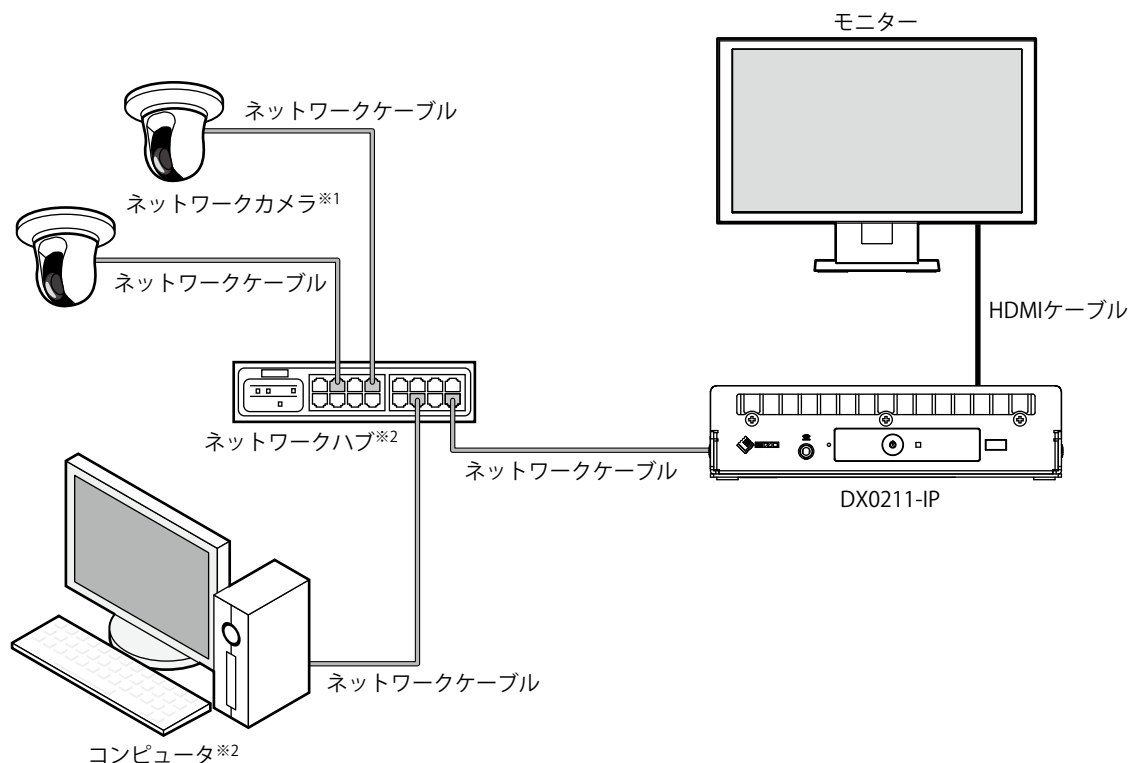
- 24時間連続使用で2年間の長期保証

● 操作

- キーボード、マウス、リモコン、またはジョイスティックによる操作が可能

1-2. システム構成

ネットワークカメラと通信をおこない、製品に接続したモニターで動画の表示やネットワークカメラの操作などをおこなうことができます。



※1 ネットワークカメラは最大48台まで登録できます。

※2 PoE+対応ネットワークハブを使用してください。PoE+に対応していない場合、ネットワークカメラおよびDX0211-IPは個別に電源に接続する必要があります。

※3 ネットワークカメラの設定をWebブラウザからおこなう場合は、DX0211-IPと同じネットワーク上にあるコンピュータを使用します。

1-3. 対応ネットワークカメラ

この製品に対応しているネットワークカメラは次のとおりです。

- ・ パナソニック社製 i-pro シリーズ ネットワークカメラ
- ・ アクシス社製ネットワークカメラ
- ・ ONVIF Profile S対応ネットワークカメラ

注意点

- ・ 対応ネットワークカメラは、製品のソフトウェアバージョンによって異なります。お使いの製品の、ソフトウェアバージョンを確認したうえで、当社Webサイト (www.eizo.co.jp) より対応ネットワークカメラを確認してください。ソフトウェアバージョンの確認方法については、「2-2. 設定画面について」(P.11)を参照してください。
- ・ ネットワークカメラの設置、設定については、ネットワークカメラの取扱説明書もあわせて確認してください。

参考

- ・ ネットワークカメラの接続を検証するために、URIを指定してネットワークカメラの映像にアクセスすることもできます。詳細は、「4-2. ネットワークカメラを手動で登録する」(P.52)を参照してください。

第2章 設定の前に

システムの設定は、製品に接続したモニターに表示される画面（アプリケーション画面）、または同じネットワーク上に接続したコンピュータのWebブラウザからおこなうことができます。

2-1. システムにログインする

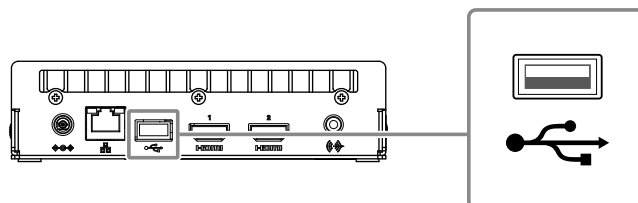
この製品の設定には、システムにログインする必要があります。
また、製品にアクセスしているユーザーのレベルが「ADMIN」のときのみ有効です。
次の手順に従って、システムにログインしてください。

参考

- 初期設定では次のユーザー情報が設定されています。
 - ユーザー名: 「admin」
 - パスワード: 「admin」
 - ユーザーレベル: 「ADMIN」
- ユーザーの設定については、「[第6章 ユーザーアカウントの管理](#)」(P.80)を参照してください。
- 第三者によるネットワークカメラ操作や設定改ざんを防ぐため、設定終了後ログアウトすることをお勧めします。
- 自動ログインの設定をおこなうと、ユーザー名とパスワードを入力せずにシステムにログインできます。
詳細は、「[6-4. 自動ログインの設定をおこなう](#)」(P.84)を参照してください。

● この製品で設定する場合

アプリケーション画面から操作する場合、USBマウスが必要です。
USBマウスをこの製品のUSBダウンストリームポートに接続してください。



注意点

- 事前にモニター側で、HDMI入力を表示可能な状態に設定してください。
- リモコンでは設定画面の操作はできません。

参考

- USBハブ機能を持つ機器に接続すると複数のUSB機器で操作できます。
- 文字の入力方法は「[文字の入力方法](#)」(P.10)を参照してください。

1. この製品前面の を押します。

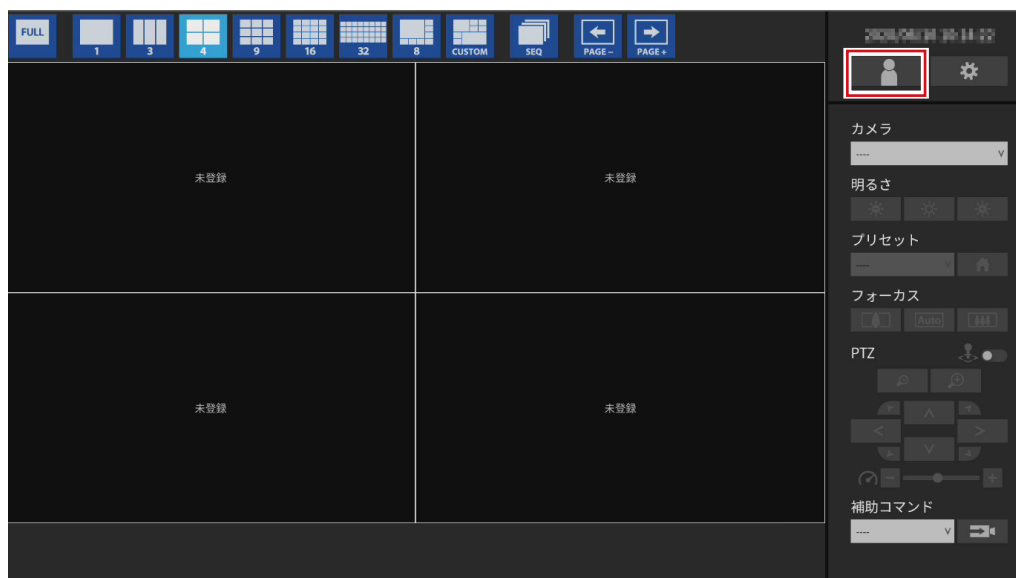
電源ランプが青色に点灯し、この製品に接続したモニターにライブ画面が表示されます。
(ライブ画面については、「操作マニュアル」を参照してください。)

参考

- 出荷時の電源の状態は、「オン」です。

2. 「システム」の (ログイン) を選択します。

ログイン画面が表示されます。



3. 「ユーザー名:」と「パスワード:」を入力します。

ログイン

ユーザー名:

パスワード:

参考

- 「アカウントタイプ」が「LDAP」の場合、事前に「LDAP設定」の「ログインダイアログでアカウントタイプを選択する」にチェックを入れることで、ログイン時に一時的にアカウントタイプを変更することが可能です。

4. 「ログイン」を選択します。

ライブ画面に戻ります。

5. (設定) を選択します。

設定画面が表示されます。

文字の入力方法

- USBキーボードで入力する場合
タイピングした文字がテキストボックスに入力されます。
- USBマウスで入力する場合
テキストボックスなど文字入力が必要な項目をクリックすると、ソフトウェアキーボードが表示されます。ソフトウェアキーボード外にフォーカスが移動すると、ソフトウェアキーボードは非表示になります。



● Webブラウザから設定する場合

注意点

- Webブラウザは、Microsoft Edge 79以降を推奨します。
- Webブラウザから設定をおこなう場合は、この製品に電源が接続されている必要があります。

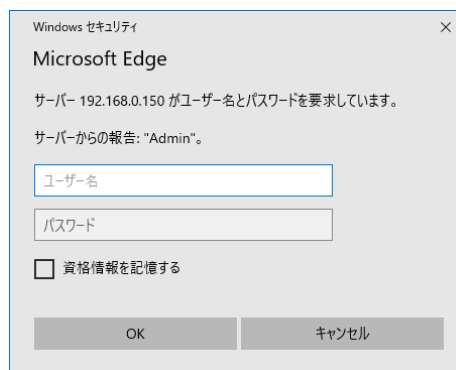
1. お使いのコンピュータのWebブラウザを起動します。

2. アドレスを入力してアクセスします。

アドレス：http://この製品のアドレス※1

※1 初期設定の場合は http://192.168.0.150 で表示できます。

ログイン画面が表示されます。



3. ユーザー名とパスワードを入力します。

4. 「OK」を選択します。

設定画面が表示されます。

参考

- ログインできない場合は以下のアドレスをお試しください。
<http://この製品のアドレス/index.html>

2-2. 設定画面について

設定画面は、「基本情報」、「本体設定」、「ライブ画面設定」で構成されています。



● 基本情報

この製品の各種設定に関する情報を一覧で表示します。
画面上部の項目タブをクリックすると、各設定項目が表示されます。

システム情報

現在の状態を表示します。

- ・モデル名
- ・シリアルナンバー
- ・ソフトウェアバージョン
- ・エディション
- ・拡張機能
- ・解像度
- ・表示状態
- ・MACアドレス
- ・通信速度
- ・セキュリティレベル（エンタープライズエディションのみ）

システム状態 / カメラ・表示位置 / 日時設定 / ネットワーク設定 / 通信設定 / 証明書設定 / 802.1X設定※1 / SNMP設定 / その他システム設定 / イベントルール設定 / リモコン設定 / ユーザーアカウント設定※1

現在の設定状態が表示されます。

※1 エディションが「エンタープライズ」の場合のみ使用可能です。

● 本体設定

ネットワークカメラの登録やシステム設定などの各種設定をおこないます。

● ライブ画面設定

ライブ画面のレイアウト変更など表示の設定をおこないます。

● ログアウト

システムからログアウトします。

注意点

- Webブラウザで表示の場合のみ「ログアウト」ボタンが表示されます。
 - アプリケーション画面で表示している場合は「戻る」ボタンが表示されます。「戻る」を選択すると、ライブ画面表示に切り替わります。
-

第3章 システムの設定

システムの日付や時刻、ネットワークの設定やメンテナンスをおこないます。

これらの操作は、アプリケーション画面、またはWebブラウザからおこなうことができます。

本章では、Webブラウザの画面で説明をしていますが、一部の機能を除き、どちらでも同じ機能を使うことができます。

3-1. ネットワーク設定をおこなう

IPアドレスやDNS、NTPなどのネットワークの設定をおこないます。

注意点

- IPアドレス設定 / IPアドレス / サブネットマスク / ゲートウェイのいずれかを変更して「適用」を選択した場合、「ネットワーク設定が変更されます。」の警告メッセージが表示されます。「OK」を選択してください。
- Webブラウザの画面でIPアドレスを変更した場合にも警告メッセージが表示されます。「OK」を選択すると、再度アクセスを要求するメッセージが表示されます。変更後のIPアドレスで設定画面にアクセスしなおしてください。

1. 「システム」の「ネットワーク設定」を選択します。

「ネットワーク設定」画面が表示されます。

The screenshot displays the EIZO Control Panel web interface. On the left sidebar, the 'システム' (System) menu item is highlighted with a red box. At the top of the main content area, the 'ネットワーク設定' (Network Settings) tab is selected and highlighted with a red box. The 'ネットワーク設定' (Network Settings) section contains the following fields:

- IPアドレス設定: 手動 (Manual)
- IPアドレス: [Input field]
- サブネットマスク: [Input field]
- ゲートウェイ: [Input field]
- DNS設定: DNS: 手動 (Manual)
- プライマリーサーバーアドレス: [Input field]
- セカンダリーサーバーアドレス: [Input field]
- NTP設定: NTP: オフ (Off)
- サーバーアドレス: [Input field]

A '適用' (Apply) button is located at the bottom of the settings section. The footer of the page reads: Copyright (c) 2018 EIZO Corporation. All rights reserved.

2. 各項目を設定します。

ネットワーク設定

項目	内容	設定範囲
IPアドレス設定	「IPアドレス設定」を選択します。	DHCP / 手動
IPアドレス※1	「IPアドレス設定」で「手動」を選択した場合は、「IPアドレス」、「サブネットマスク」、「ゲートウェイ」を設定します。 注意点 • 同じネットワーク上の機器のIPアドレスと重複しないようにしてください。 • この製品を複数台同じネットワーク上に接続する場合、IPアドレスを変更する必要があります。	0.0.0.1～255.255.255.254
サブネットマスク		
ゲートウェイ※2		

※1 初期値は、「192.168.0.150」です。

※2 ゲートウェイがない環境の場合は、「ゲートウェイ」を設定する必要はありません。初期設定のままとするか、空欄としてください。

DNS設定

項目	内容	設定範囲
DNS	(「ネットワーク設定」の「IPアドレス設定」で「手動」を選択した場合のみ) 「DNS」を設定します。	自動 / 手動
プライマリーサーバーアドレス	「DNS」で「手動」を選択した場合は、「プライマリーサーバーアドレス」、「セカンダリーサーバーアドレス」を設定します。	0.0.0.1～255.255.255.254
セカンダリーサーバーアドレス		

NTP設定

項目	内容	設定範囲
NTP	NTPサーバーを利用する / しないを設定します。	オン / オフ
サーバーアドレス	「オン」を選択した場合は、NTPサーバーのアドレスを設定してください。	英数字、記号

3. 「適用」を選択します。

設定完了画面が表示されます。

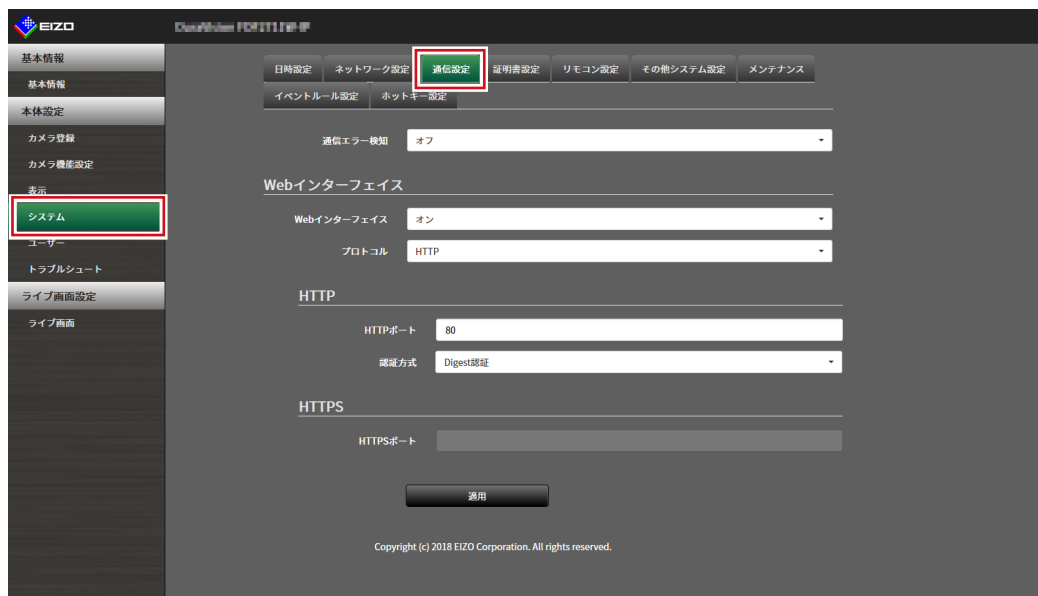
4. 「OK」を選択します。

3-2. 通信設定をおこなう

Webインターフェイス機能や通信エラー検知を設定します。

1. 「システム」の「通信設定」を選択します。

「通信設定」画面が表示されます。



2. 各項目を設定します。

項目	内容	設定範囲
通信エラー検知	映像データの受信が停止した場合のメッセージ表示タイミングを設定します。 オン： 映像データの受信が停止後の数秒以内に、ライブ画面上に赤枠のアラートメッセージが表示されます。通信が再開するとアラート表示が解除され、再度動画が表示されます。 オフ： 映像データの受信が停止してから約30秒経過後、通信エラーのメッセージが表示されます。	オン / オフ
Webインターフェイス	ネットワークを経由して、Webブラウザからこの製品の操作や設定を可能にします。	オン / オフ※1
プロトコル	Webサーバーとの通信プロトコルを選択します。※2	HTTP / HTTPS※3 / HTTP & HTTPS※3
HTTPポート	WebインターフェイスのHTTPポートを設定します。	80、1024 ~ 65535
認証方式	Webインターフェイスの認証方式を設定します。※4	Digest認証 / BASIC認証
HTTPSポート	WebインターフェイスのHTTPSポートを設定します。	443、1024 ~ 65535

※1 「USBロック」が「オン」、かつ「リモコンロック」が「オン」の場合に「オフ」にすることができません。

※2 選択するプロトコルによって、Webブラウザからこの製品にアクセスする際のアドレスが異なります。

「HTTP」：http://この製品のアドレス

「HTTPS」：https://この製品のアドレス

「HTTP & HTTPS」：上記どちらでもアクセス可能

※3 「証明書設定」で「自己証明書」または「認証機関に署名された証明書」を選択したときに設定できます。

※4 「ユーザーアカウント」が「LDAP」の場合は設定できません。

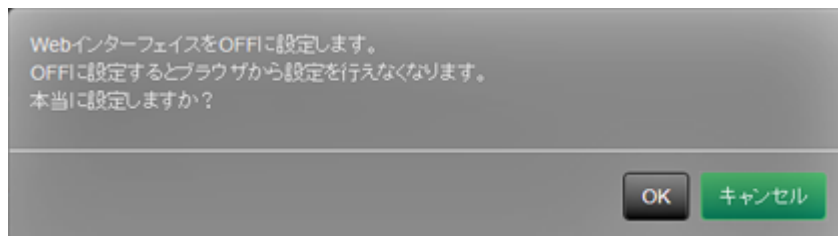
3. 「適用」を選択します。

設定完了画面が表示されます。

4. 「OK」を選択します。

注意点

- 「Webインターフェイス」を「オフ」にした場合は、Webブラウザから設定をおこなうことができません。
- 「Webインターフェイス」を「オフ」にし、「適用」を選択した場合は、次の警告メッセージが表示されます。



3-3. 現在の日付と時刻を設定する

注意点

- 正しい日付を設定してください。正しい日付が設定されていない場合、証明書検証時のセキュア通信失敗の原因になります。カメラとの通信やLDAP設定でSSLを使用する場合、または、802.1Xを使用する場合は、長時間電源を入れない状態を避けるか、NTPを使用して正しい時刻が常に設定されるようにしてください。
- LDAPでセキュア通信できなくなった場合は、ログインができなくなります。リセットボタンでアカウント設定を初期化してください。

1. 「システム」の「日時設定」を選択します。

「日時設定」画面が表示されます。

Copyright (c) 2018 EIZO Corporation. All rights reserved.

2. 現在の日付と時刻を設定します。

日付/時間表示設定

項目	内容	設定範囲
日付表示形式	日付の表示形式、時間の表示形式を設定します。	yyyy/mm/dd、Mmm/dd/yyyy、dd/Mmm/yyyy、mm/dd/yyyy、dd/mm/yyyy
時刻表示形式		24時間 / 12時間

タイムゾーン設定

項目	内容	設定範囲
タイムゾーン	タイムゾーンを設定します。	地域 / 都市

時刻設定

項目	内容	設定範囲
設定方法 ^{※1}	時刻の設定方法を選択します。	手動 / PCと同期
日時	現在の時刻を設定します。	2018/1/1 0:00 ~ 2035/12/31 23:59

※1 Webブラウザで表示の場合のみ設定できます。

- 3. 「適用」を選択します。**
設定完了画面が表示されます。

- 4. 「OK」を選択します。**

参考

- 「設定方法」で「PCと同期」を選択した場合、コンピュータの現在の日時設定情報がこの製品に送信されます。
 - 1週間以上電源に接続していないときは、製品の日付と時間が正確に表示されなくなります。その場合は、日時を設定し直してください。
-

3-4. そのほかのシステム設定

「言語」、「解像度」、「マルチモニター設定」、「画面の向き」、「回転方向」、「操作ロック」、「USBロック」、「リモコンロック」、「電源ランプ」、「キーボードレイアウト」の設定をおこないます。

1. 「システム」の「その他システム設定」を選択します。

「その他システム設定」画面が表示されます。



2. 各項目を設定します。

項目	内容	設定範囲
言語	メニューおよび設定画面の表示言語を設定します。	日本語 / English / Deutsch
解像度	モニターへの出力解像度を選択します。	1920x1080 / 2560x1440 / 3840x2160
マルチモニター設定	HDMIコネクタ2からの信号の出力方法を選択します。	1画面 / 拡張 / 複製
画面の向き ^{※3}	カメラ映像の表示方向を切り替えます。	横 / 縦
回転方向 ^{※3}	「画面の向き」が「縦」の場合に、カメラ映像の回転方向を設定します。	左 / 右
操作ロック	この製品前面のボタン操作をロックします。	オン / オフ
USBロック ^{※1、2}	USBデバイスの操作をロックします。	オン / オフ
リモコンロック ^{※1}	リモコンの操作をロックします。	オン / オフ
電源ランプ	通常動作時の電源ランプ（青）を点灯する / しないを設定します。	オン / オフ
キーボードレイアウト	キーボードの配列を選択します。	日本語 / 英語(US) / 英語(UK) / ドイツ語

※1 Webブラウザで表示の場合のみ設定できます。

※2 「USBロック」の設定を変更した場合は、製品の再起動が必要です。

※3 エディションが「エンタープライズ」の場合のみ使用可能です。

注意点

- 次の条件をすべて満たす場合、リフレッシュレートは最大30Hzに制限されます。
 - 2台のモニターを接続している
 - 「解像度」が「3840x2160」
 - 「マルチモニター設定」が「拡張」
 - 「画面の向き」が「縦」

3. 「適用」を選択します。

設定完了画面が表示されます。

4. 「OK」を選択します。

3-5. システムを初期化する

システムログ、操作ログ、現在時刻、タイムゾーン設定、ライセンス認証情報、ソフトウェアバージョン以外の設定を初期設定に戻します。

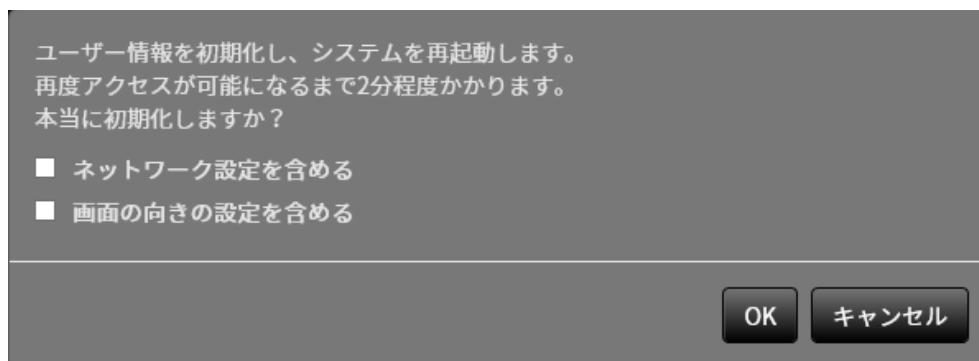
1. 「システム」の「メンテナンス」を選択します。

「メンテナンス」画面が表示されます。



2. 「初期化」の「実行」を選択します。

確認メッセージが表示されます。



3. 初期化の対象にネットワーク設定を含める場合は、チェックボックスにチェックをいれます。

4. 「OK」を選択します。

3-6. システムを再起動する

1. 「システム」の「メンテナンス」を選択します。

「メンテナンス」画面が表示されます。

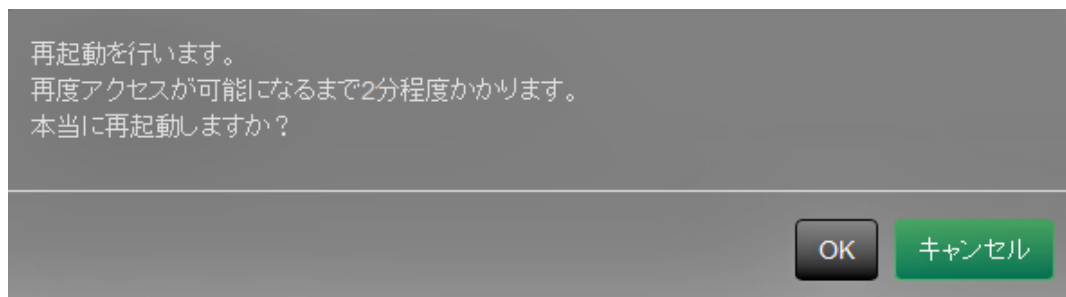


2. 「再起動」の「実行」を選択します。

確認メッセージが表示されます。

3. 「OK」を選択します。

システムを再起動します。



3-7. ソフトウェアを更新する

ソフトウェアのバージョンアップをおこなうことができます。バージョンアップ用のファイルは事前に当社Webサイト（www.eizo.co.jp）からダウンロードしてください。

注意点

- この機能は、Webブラウザをお使いの場合のみ使用することができます。

1. 「システム」の「メンテナンス」を選択します。

「メンテナンス」画面が表示されます。



2. バージョンアップファイルを選択します。

「ソフトウェア更新」の「参照」を選択しファイルを設定してください。

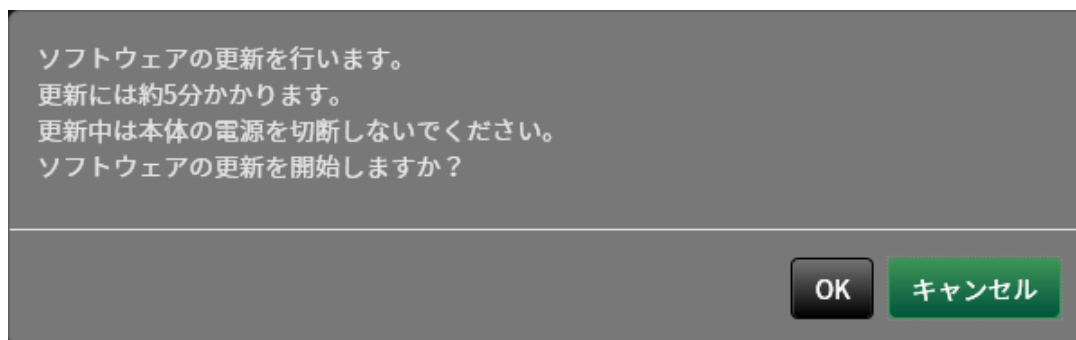
注意点

- ファイルを未選択の状態、もしくは更新ファイル以外のファイルを選択した場合は、更新はされません。
- ソフトウェア更新は、製品に電源が接続されている状態でおこなってください。

3. 「実行」を選択します。

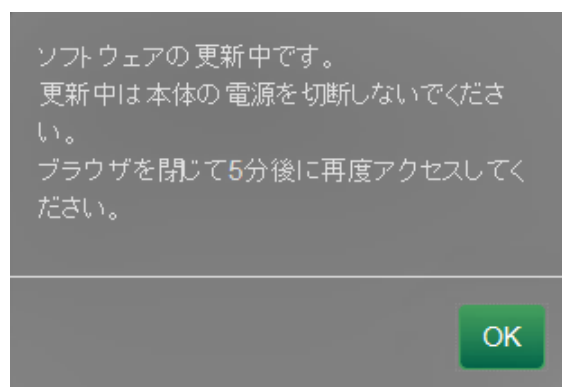
確認メッセージが表示されます。

4. 「OK」を選択します。



ソフトウェアの更新中はメッセージが表示されます。

5. 「OK」を選択します。



参考

- ソフトウェアの更新には5分程度かかります。
 - ソフトウェア更新中は赤LEDが点滅します。
-

3-8. システムの設定情報を保存する

設定情報をファイルに書き出すことができます。書き出したファイルは、設定情報を移行するために使用できます。

注意点

- この機能は、Webブラウザをお使いの場合のみ使用することができます。

1. 「システム」の「メンテナンス」を選択します。

「メンテナンス」画面が表示されます。



2. 「設定情報の移行」の「設定情報の保存」を選択します。

「設定情報の保存」のダイアログボックスが表示されます。

3. 「パスワード」を指定します。



4. 「実行」を選択します。

5. 保存場所を指定します。

設定情報が保存されます。

注意点

- 一部の設定は保存できません。
- 保存時に指定したパスワードを忘れてしまった場合、設定を読み込むことができなくなります。

参考

- 保存ファイル名：dx0211-ip_Backupyyyyymmdd.duraconf2 (yyyyymmddは保存日付)

3-9. システムの設定情報を読み込む

設定情報をファイルから読み込みます。

注意点

- この機能は、Webブラウザをお使いの場合のみ使用することができます。
- サーバー証明書、クライアント証明書を使用する設定は読み込みません。

1. 「システム」の「メンテナンス」を選択します。

「メンテナンス」画面が表示されます。

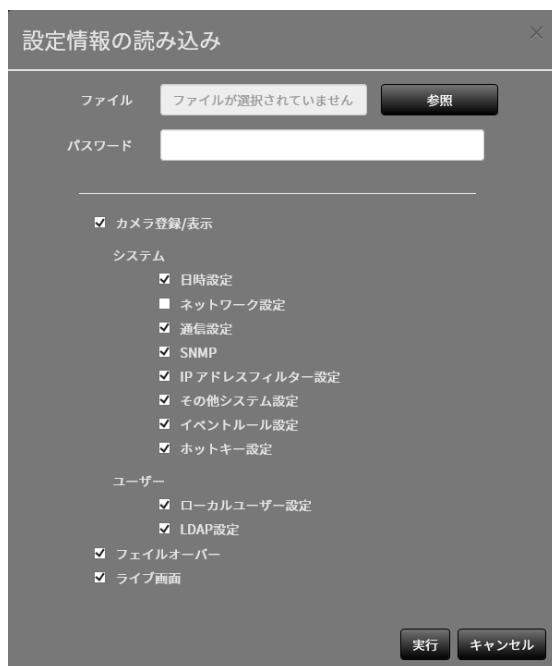


2. 「設定情報の移行」の「設定情報の読み込み」を選択します。

「設定情報の読み込み」のダイアログボックスが表示されます。

3. 設定情報ファイルを選択します。

「参照」を選択しファイルを設定してください。



4. 「パスワード」に設定情報を保存したときに指定したパスワードを入力します。

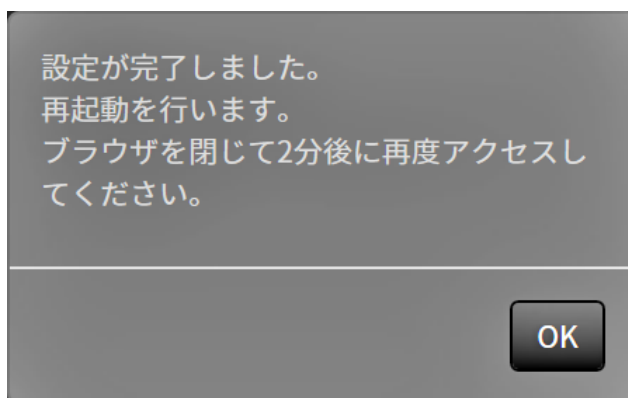
5. 読み込む情報を選択します。

チェックボックスにチェックをいれてください。

6. 「実行」を選択します。

読み込みが完了すると、メッセージが表示されます。

7. 「OK」を選択します。



注意点

- ・ 設定情報を保存した環境と設定情報を読み込む環境でネットワーク設定または通信設定が異なる場合は、Webブラウザから設定画面を表示できなくなる可能性があります。

3-10.ライセンス認証をおこなう

ソフトウェアのエディションを変更することができます。エンタープライズエディションの場合や拡張機能を有効にした場合、使用できる機能が追加されます。詳しくは、販売店またはお客様ご相談窓口にお問い合わせください。

注意点

- ・この機能は、Webブラウザをお使いの場合のみ使用することができます。

1. 「システム」の「メンテナンス」を選択します。

「メンテナンス」画面が表示されます。



2. 「ライセンス認証」の「認証」をクリックし、ライセンスファイルを選択します。

複数のライセンスファイルを選択する場合は、**+**をクリックします。

3. 「実行」をクリックします。

確認メッセージが表示されます。

「現在のエディション」や「拡張機能」が更新されます。

ブラウザを閉じ、2分後に再度アクセスしてください。

注意点

- ・「解除」を選択すると、登録しているすべてのライセンスが解除されます。

3-11. イベントルールを設定する

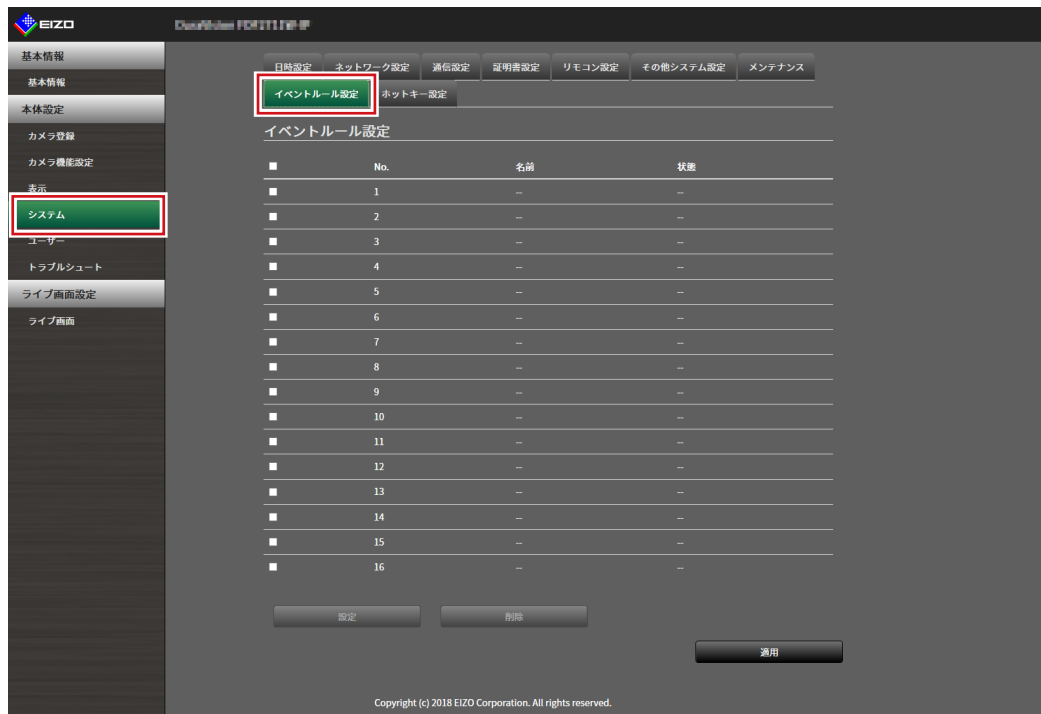
イベントルールとは、特定のイベントをトリガーに特定のアクションを実行する機能です。「アラート受信」、「タイマー期限切れ」、「ビデオ出力状態の変化」などのイベントが発生したときに実行するアクションを設定することができます。

参考

- ・合計で16個のイベントルールを設定することができます。

1. 「システム」の「イベントルール設定」を選択します。

「イベントルール設定」画面が表示されます。



2. イベントルールを登録する番号を選択します。

登録する番号のチェックボックスにチェックをいれてください。

3. 「設定」を選択します。

「イベントルール設定」画面が表示されます。

4. イベントルールを設定します。

項目	内容	設定範囲
名前	イベントルールの名前を入力します。	英数字、かな ^{※1} 、漢字 ^{※1} （24文字まで）
状態	イベントルールの有効、無効を選択します。	有効 / 無効
イベント	トリガーにするイベントを選択します。 イベントにより設定できる項目が異なります。下表を参照してください。	アラート受信 / タイマー期限切れ / ビデオ出力状態の変化 / フェイルオーバーモード開始 / 補助コマンド ^{※2} / システム起動 / ネットワークリンクアップ
アクション	イベント発生時に実行するアクションを選択します。 アクションにより設定できる項目が異なります。下表を参照してください。	通知 / タイマースタート / SNMPトラップ / フェイルオーバー切替

※1 Webブラウザで表示の場合のみ設定できます。

※2 ライブ画面の補助コマンド実行をトリガーにする場合に使用します。カメラの補助コマンドをトリガーにすることはできません。

「イベント」の「設定範囲」の詳細

イベント	判定条件
アラート受信 ^{※3}	HTTPアラートコマンドを受信した
タイマー期限切れ	「アクション」で設定したタイマーの期限が切れた
ビデオ出力状態の変化	電源オン中にHDMIの接続状態が変化した
フェイルオーバーモード開始	フェイルオーバー表示に切り替わった
補助コマンド	ライブ画面の補助コマンドでイベントを実行した
システム起動	主電源がオンになった
ネットワークリンクアップ	ネットワーク通信が可能な状態になった

※3 外部機器からアラート表示用のHTTPコマンドを送信する必要があります。詳しくは、販売店またはお客様ご相談窓口にお問い合わせください。

「イベント」に「アラート受信」を選択した場合

項目	内容	設定範囲
カメラNo.	アラートを受信するカメラを選択します。	指定なし、1～48
トリガータイプ	イベントの発生タイミングを選択します。 アラート表示をトリガーとする場合にはオンを、非表示をトリガーとする場合にはオフを選択します。	指定なし / オン / オフ
ID ^{※4}	IDを指定します。	指定なし、1～16

※4 「トリガータイプ」が「いずれか」または「オン」の場合に設定できます。

「イベント」に「タイマー期限切れ」を選択した場合

項目	内容	設定範囲
タイマーNo.	タイマーの番号を選択します。	1～8

「アクション」に「通知」を選択した場合

項目	内容	設定範囲
プロトコル	通信プロトコルを選択します。	HTTP / HTTPS
URL	通知先のURLを入力します。	英数字、記号（32文字まで）
ユーザー名	URLにアクセスする時のユーザー名を入力します。	英数字、記号（32文字まで）
パスワード	URLにアクセスする時のパスワードを入力します。	英数字、記号（32文字まで）
実行	設定したURLにアクセスできるか確認するためのテストを実行します。	-

「アクション」に「タイマースタート」を選択した場合

項目	内容	設定範囲
タイマーNo.	タイマーの番号を選択します。	1～8
設定時間	「分」、「秒」を設定します。	「分」：0～59、「秒」：0～59

「アクション」に「SNMPトラップ」を選択した場合

項目	内容	設定範囲
トラップ名	トラップの名前を入力します。	Unicode印刷可能文字（128文字まで）
トラップメッセージ	トラップのメッセージを入力します。	Unicode印刷可能文字（128文字まで）
テスト	SNMPトラップの送信テストをおこないます。	実行

注意点

- ・事前にSNMPの「トラップアドレス」と「トラップコミュニティ」を設定してください。

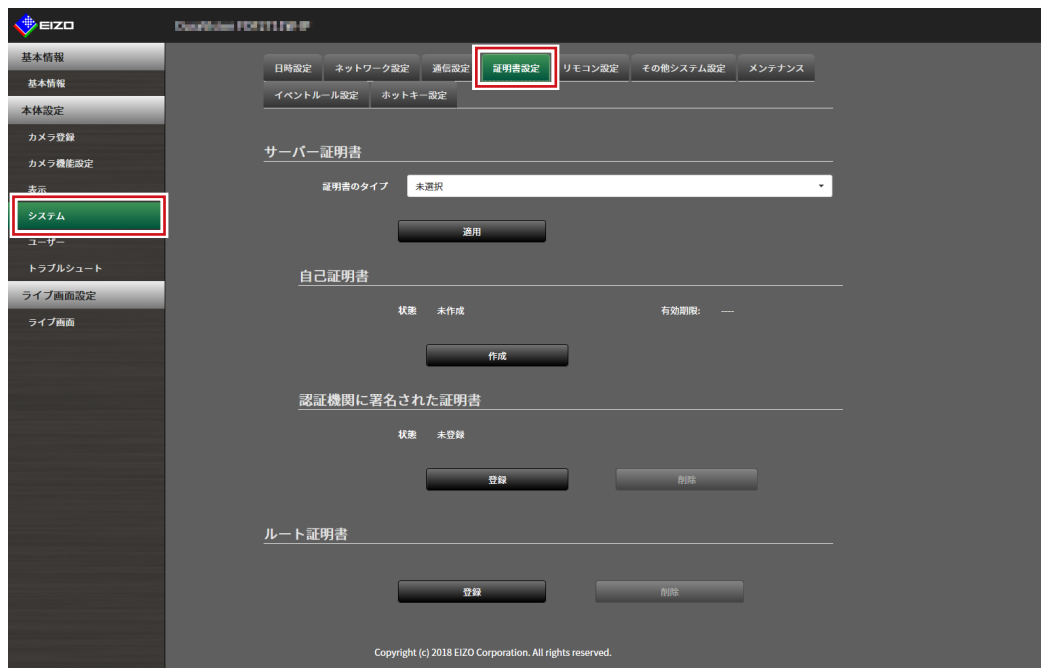
5. 「OK」を選択します。

設定が完了します。

3-12. 証明書の設定をおこなう

1. 「システム」の「証明書設定」を選択します。

「証明書設定」画面が表示されます。



2. 証明書の設定をおこないます。

サーバー証明書

サーバー証明書は、Webブラウザからこの製品にHTTPSでアクセスする際に使用します。

注意

- この製品では証明書署名要求(CSR)の作成は出来ません。
- 認証機関に署名された証明書の登録はWebブラウザ経由でのみ可能です。

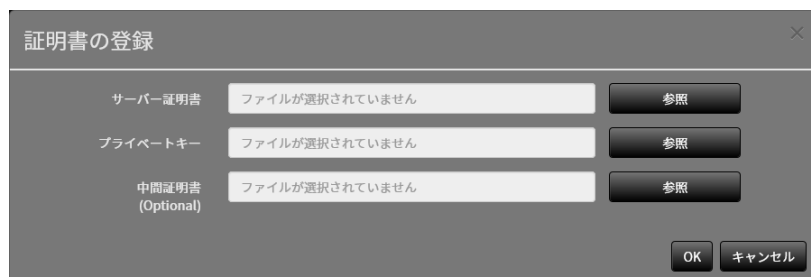
「証明書のタイプ」を選択し、「適用」を選択します。

自己証明書

「自己証明書」欄の「作成」ボタンを押し、証明書を作成してから選択してください。

認証機関に署名された証明書

「認証機関に署名された証明書」欄の「登録」ボタンを押し、証明書を登録してから選択してください。
登録には、認証機関から発行される情報の登録が必要です。



ルート証明書

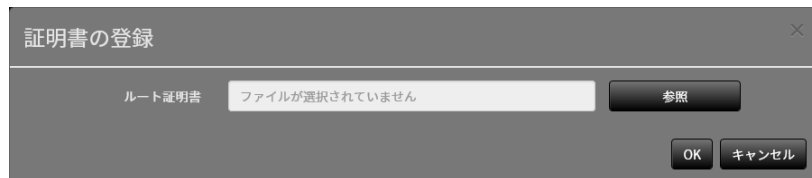
ルート証明書は次の場合に使用します。

- ネットワークカメラへのHTTPS接続
- LDAPサーバーへのLDAPS接続
- IEEE802.1X認証

注意点

- ルート証明書の登録はWebブラウザ経由でのみ可能です。
 - この製品にはルート証明書はプリインストールされていません。
-

「登録」を選択し、「ルート証明書」を選択します。



3-13. リモコンのIDを設定する

この製品を複数台使用する場合、製品とリモコンに共通のIDを設定することでリモコンで操作する製品を限定することができます。

参考

- ・ リモコンのIDが「0」の場合は、製品のIDとリモコンのIDが一致していない場合でも動作します。
- ・ リモコンのIDの初期値は「0」です。

● 製品側のIDを設定する

1. 「システム」の「リモコン設定」を選択します。

「リモコン設定」画面が表示されます。



2. 各項目を設定します。

項目	内容	設定範囲
ID	IDにする番号を選択します。	0～99
ID表示	「オン」にすると、リモコンのIDボタンを押したときにライブ画面の右上にIDが表示されます。	オン / オフ

3. 「適用」を選択します。

設定が完了します。

● リモコン側のIDを設定する

1. ID を3秒以上押し続けます。

2. ID を押したまま、設定したいID（0-99）を数字ボタンで入力します。

参考

- ・ 設定したいIDが1桁の場合は最初に0を入力してください。
（例：「3」を設定する場合は「03」と入力する。）

3. ID を離します。

参考

- ・ リモコンのIDを確認するときは、「ID表示」を「オン」に設定し、ID を押してください。
ライブ画面の右上に現在のIDが表示されます。

3-14.USB機器のホットキー設定をおこなう

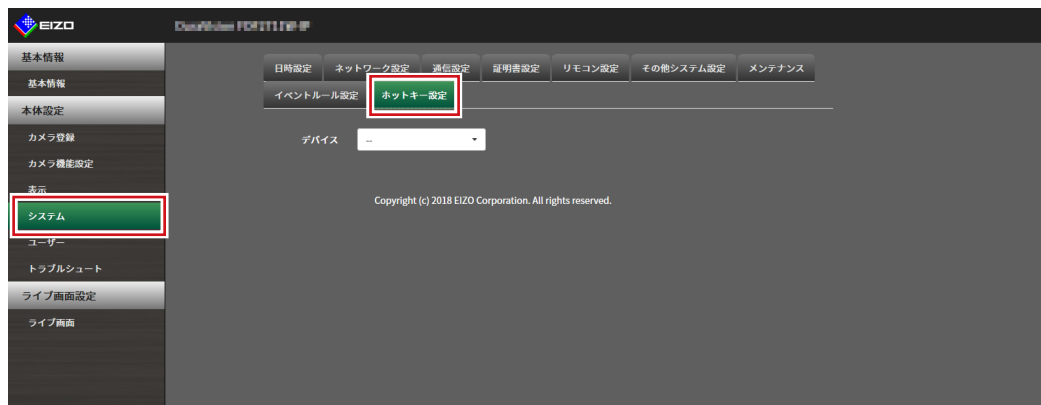
USB機器（マウス、キーボード以外）のボタンでライブ画面を操作できます。

参考

- ・ 対応しているUSB機器は次のとおりです。
 - AXIS T8311（ジョイスティック）

1. 「システム」の「ホットキー設定」を選択します。

「ホットキー設定」画面が表示されます。



2. 「デバイス」で設定するUSB機器を選択します。

選択したUSB機器のボタンの一覧が表示されます。

3. 各ボタンの機能を設定します。

機能一覧

項目	内容
全画面	ライブ画面のメニューを表示 / 非表示します。
1面レイアウト	ライブ画面のレイアウトを1面に変更します。
3面レイアウト ※1	ライブ画面のレイアウトを3面に変更します。
4面レイアウト ※1	ライブ画面のレイアウトを4面に変更します。
9面レイアウト ※1	ライブ画面のレイアウトを9面に変更します。
16面レイアウト ※1	ライブ画面のレイアウトを16面に変更します。
32面レイアウト ※1	ライブ画面のレイアウトを32面に変更します。
8面レイアウト ※1	ライブ画面のレイアウトを8面に変更します。
カスタムスクリーン レイアウト ※1	ライブ画面のレイアウトをカスタムに変更します。
シーケンスモード	カメラ画像のシーケンス表示（表示ページを一定間隔で切り替えるモード）のオンまたはオフを切り替えます。
次ページ	ライブ画面に表示するカメラ画像を次のページに切り替えます。
前ページ	ライブ画面に表示するカメラ画像を前のページに切り替えます。
プリセット1 ※1	ライブ画面のレイアウトをプリセット1に変更します。
プリセット2 ※1	ライブ画面のレイアウトをプリセット2に変更します。
プリセット3 ※1	ライブ画面のレイアウトをプリセット3に変更します。
プリセット4 ※1	ライブ画面のレイアウトをプリセット4に変更します。
プリセット5 ※1	ライブ画面のレイアウトをプリセット5に変更します。
プリセット6 ※1	ライブ画面のレイアウトをプリセット6に変更します。
プリセット7 ※1	ライブ画面のレイアウトをプリセット7に変更します。
レイアウト変更	ライブ画面のレイアウトをボタンを押すたびに切り替えます。
ジョイスティック モード ※2	ジョイスティックモードのオンまたはオフを切り替えます。
左クリック ※2	マウスの左クリックです。

※1 ライブ画面上で表示される設定になっている場合のみ設定できます。

※2 特定のUSB機器のボタンに初期値として設定されています。初期設定されているボタン以外に設定することはできません。

AXIS T8311の初期設定

項目	内容
J1	全画面
J2	レイアウト変更
J3	次ページ
J4	前ページ
L ※3	左クリック
R ※3	ジョイスティックモード

※3 変更できません。

4. 「適用」を選択します。

3-15. IEEE 802.1X認証を設定する

注意点

- この機能は、ソフトウェアのエディションが「エンタープライズ」の場合のみ使用することができます。ソフトウェアのエディションについては、「[3-10. ライセンス認証をおこなう](#)」(P.27)を参照してください。
- この製品はEAPOL Version 2 (IEEE 802.1X-2004)で動作します。

1. 「システム」の「802.1X設定」を選択します。

「802.1X設定」画面が表示されます。

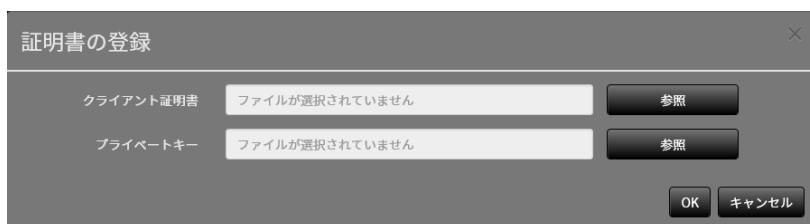
The screenshot shows the EIZO DataViewer PC software interface. On the left, a sidebar contains menu items: 基本情報, 基本情報, 本体設定, カメラ登録, カメラ機能設定, 表示, システム (highlighted with a red box), ユーザー, トラブルシュート, ライブ画面設定, ライブ画面, and ログアウト. The top navigation bar includes tabs: 日時設定, ネットワーク設定, 通信設定, 証明書設定, 802.1X設定 (highlighted with a red box), SNMP設定, and IP アドレスフィルター設定. Below these are more tabs: リモコン設定, その他システム設定, メンテナンス, イベントルール設定, and ホットキー設定. The main content area is titled '802.1X設定'. It features a '認証' (Authentication) dropdown menu set to 'オフ'. Below this are input fields for '証明書の検証' (Certificate Verification) and 'Identity'. The 'EAP-TLS' section contains buttons for 'クライアント証明書' (Client Certificate), '未登録' (Not Registered), '登録' (Register), and '削除' (Delete). The 'EAP-PEAP' section has a 'パスワード' (Password) input field and an '適用' (Apply) button at the bottom. A copyright notice at the bottom reads: Copyright (c) 2018 EIZO Corporation. All rights reserved.

2. 各項目を設定します。

項目	内容	設定範囲
認証	認証方法を選択します。	オフ / EAP-TLS / EAP-PEAP
証明書の検証	サーバー証明書の検証について選択します。 注意点 証明書の検証を行う場合、認証サーバーのルート証明書が、この製品の「証明書設定」の「ルート証明書」に登録されている必要があります。	オフ / オン
Identity	ユーザーの名称を入力します。	英数字、記号（32文字まで）

「認証」に「EAP-TLS」を選択した場合

「クライアント証明書」の「登録」を選択し、次の項目を設定します。



項目	内容	設定範囲
クライアント証明書	クライアント証明書を指定します。	-
プライベートキー	プライベートキーを指定します。	-

「認証」に「EAP-PEAP」を選択した場合

項目	内容	設定範囲
パスワード	パスワードを入力します。	英数字、記号（32文字まで）

3. 「適用」をクリックします。

3-16.SNMPを設定する

SNMPによる情報取得や、イベントルールのアクションとしてSNMPトラップを設定できます。

1. 「システム」の「SNMP設定」を選択します。

「SNMP設定」画面が表示されます。



2. 「バージョン」を選択します。

「バージョン」に「v1 & v2c」を選択した場合

項目	内容	設定範囲
読み取りコミュニティ	読み取りコミュニティを入力します。	英数字、記号（32文字まで）
トラップアドレス	イベントルールのSNMPトラップ通知先アドレスを入力します。	0.0.0.1～255.255.255.254
トラップコミュニティ	トラップコミュニティを入力します。	英数字、記号（32文字まで）

3. 「適用」をクリックします。

注意点

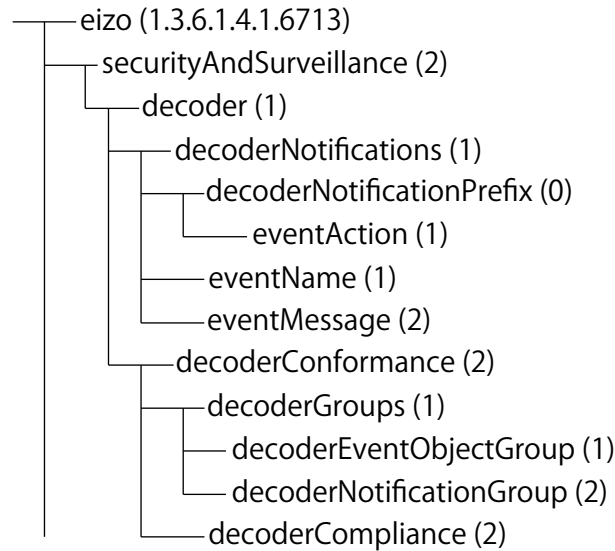
- ・「読み取りコミュニティ」が空欄の場合、SNMPによる情報取得はできません。
- ・「トラップアドレス」と「トラップコミュニティ」が空欄の場合、イベントルールのSNMPトラップは動作しません。

EIZO MIB構成

この製品でSNMPを利用する場合、下記のモジュールをSNMPマネージャーにインポートする必要があります。

- EIZO-ROOT-MIB
- EIZO-SECURITY-MIB
- EIZO-DECODER-MIB

MIB Tree



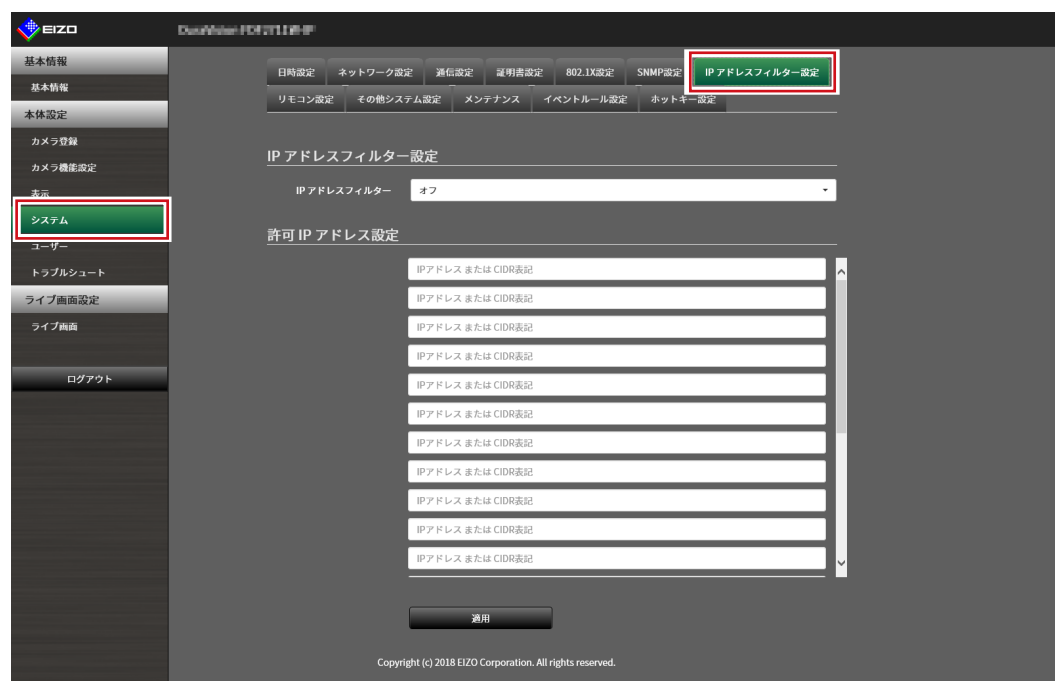
名前	OID	TYPE	SYNTAX	MAX-ACCESS	説明
eventAction	.6713.2.1.1.0.1	NOTIFICATION-TYPE	—	—	アクション実行時のトラップ
eventName	.6713.2.1.1.1	OBJECT-TYPE	SnmpAdminString	accessiblefor-notify	イベントルールで定義したイベント名
eventMessage	.6713.2.1.1.2	OBJECT-TYPE	SnmpAdminString	accessiblefor-notify	イベントルールで定義したイベントメッセージ

3-17.IPアドレスフィルターを設定する

システムにアクセスできるコンピュータのIPアドレスを制限します。

- 注意点
- IPアドレスフィルター設定が正しくない場合、この製品にアクセスできなくなります。

- 「システム」の「IPアドレスフィルター設定」を選択します。
「IPアドレスフィルター設定」画面が表示されます。



- 各項目を設定します。

項目	内容	設定範囲
IPアドレスフィルター	機能の有効 / 無効を選択します。	オフ / オン
許可IPアドレス設定	アクセスを許可するコンピュータのIPアドレスを入力します。IPアドレスを範囲で指定する場合はCIDR表記で入力します。	0.0.0.1～255.255.255.254

- 「適用」をクリックします。

- 注意点
- 「IPアドレスフィルター」が「オン」の場合、カメラ探索でカメラは見つかりません。
 - 「IPアドレスフィルター」が「オン」の場合でも、カメラ映像を受信するための通信は制限されません。

3-18.フェイルオーバーを設定する

フェイルオーバーを有効にすると、製品本体に登録したネットワークカメラの死活監視をおこないます。カメラとの通信ができなくなると障害発生と判断し、フェイルオーバー用に登録したカメラ一式に表示を切り替えます。フェイルオーバーに切り替わるとカメラ画像の枠線が黄色く表示されます。

- 【注意点】
- この機能は、ソフトウェアのエディションが「エンタープライズ」で、かつ、拡張機能の「フェイルオーバー」が有効な場合のみ使用することができます。ソフトウェアのエディションについては、「3-10. ライセンス認証をおこなう」(P.27)を参照してください。

- 【参考】
- フェイルオーバーから通常のカメラ一式に表示を切り替えるには、次のいずれかの操作をおこないます。
 - 一度本体設定画面に移動し、カメラ表示画面に戻る。
 - イベントルールに「フェイルオーバー切り替え」を登録し、補助コマンドを使用する。
 - Webブラウザから「ライブ画面」→「システム状態設定」の「カメラモード」を「スタンダード」にする。

●フェイルオーバー設定

1. 「フェイルオーバー」の「フェイルオーバー設定」を選択します。

「フェイルオーバー設定」画面が表示されます。



2. 各項目を設定します。

項目	内容	設定範囲
フェイルオーバー	機能の有効 / 無効を選択します。	オフ / オン
障害判定条件	障害判定条件を選択します。	全てのカメラと通信失敗 / いくつかのカメラと通信失敗

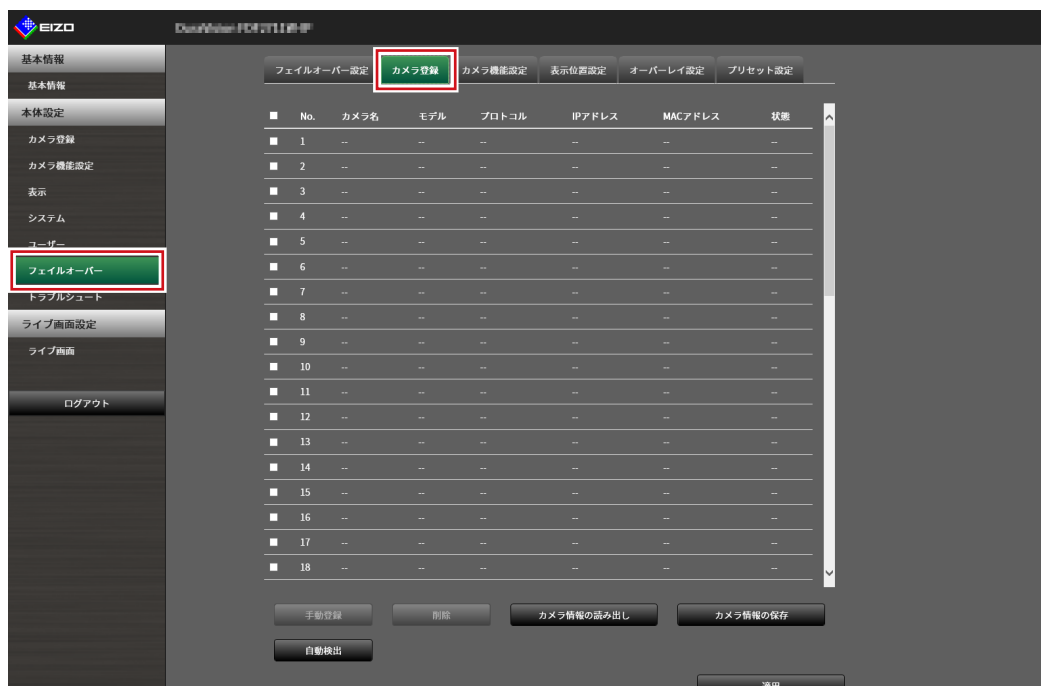
3. 「適用」をクリックします。

● カメラ登録

フェイルオーバー用ネットワークカメラを登録します。

1. 「フェイルオーバー」の「カメラ登録」を選択します。

「カメラ登録」画面が表示されます。



2. 次の項目を参照して、ネットワークカメラを登録します。

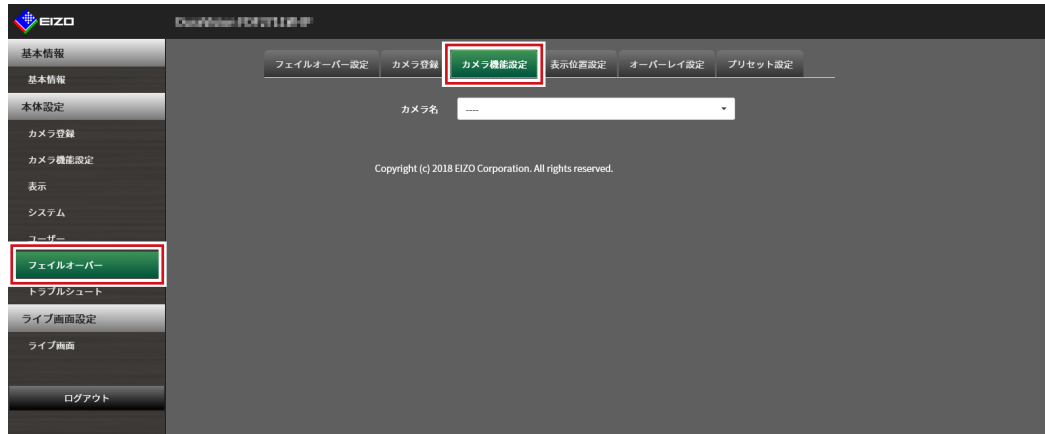
- 「4-1. ネットワークカメラを自動検出して登録する」 (P.51)
- 「4-2. ネットワークカメラを手動で登録する」 (P.52)
- 「4-3. ネットワークカメラの情報を変更する」 (P.55)
- 「4-4. ネットワークカメラを削除する」 (P.57)
- 「4-5. ネットワークカメラの情報をエクスポートする」 (P.58)
- 「4-6. ネットワークカメラの情報をインポートする」 (P.59)

● カメラ機能設定

フェイルオーバー用ネットワークカメラの時刻、配信映像の画質、プリセット位置を設定します。

1. 「フェイルオーバー」の「カメラ機能設定」を選択します。

「カメラ機能設定」画面が表示されます。



2. 次の項目を参照して、ネットワークカメラの設定をおこないます。

「4-7. ネットワークカメラの時刻を設定する」 (P.61)

「4-8. 配信映像の画質を設定する」 (P.62)

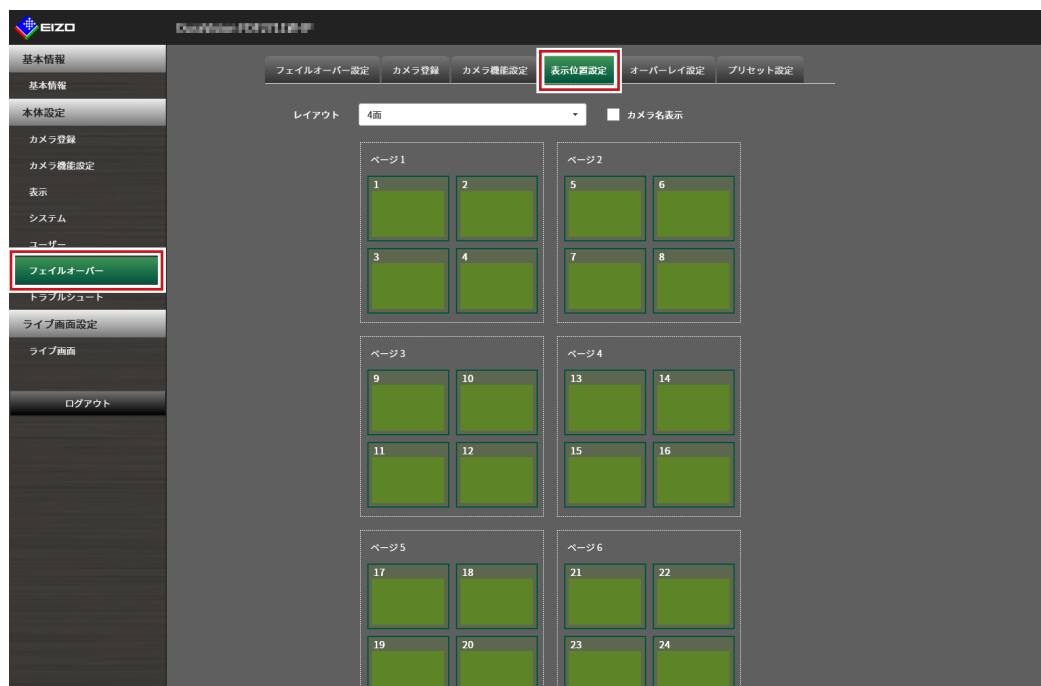
「4-9. ネットワークカメラのプリセット位置を登録する」 (P.65)

● 表示位置設定

フェイルオーバー用ネットワークカメラのカメラ映像の表示位置を設定します。

1. 「フェイルオーバー」の「表示位置設定」を選択します。

「表示位置設定」画面が表示されます。



参考

- ・「カメラ名表示」にチェックを入れると、通常使用しているネットワークカメラのカメラ名の表示が有効になります。

2. 次の項目を参照して、ネットワークカメラの設定をおこないます。

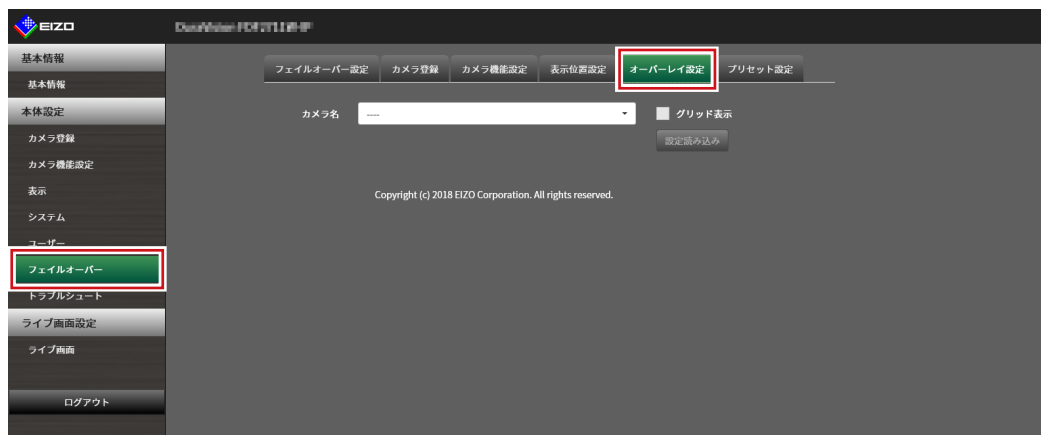
「5-1. カメラ映像の表示位置を設定する」 (P.67)

● オーバーレイ設定

フェイルオーバー用ネットワークカメラのカメラ映像上にプライバシーマスクやバーチャルラインを表示することができます。

1. 「フェイルオーバー」の「オーバーレイ設定」を選択します。

「オーバーレイ設定」画面が表示されます。



参考

- ・「カメラ名」を選択した後、「設定読み込み」をクリックすると、通常使用しているネットワークカメラの設定を読み込むことができます。

2. 次の項目を参照して、オーバーレイを設定します。

[「5-6. オーバーレイを設定する」](#) (P.74)

● プリセット設定

フェイルオーバー用ネットワークカメラのプリセット位置を登録します。

1. 「フェイルオーバー」の「プリセット設定」を選択します。

「プリセット設定」画面が表示されます。



参考

- 「カメラ名表示」にチェックを入れると、通常使用しているネットワークカメラのカメラ名の表示が有効になります。

2. 次の項目を参照して、ネットワークカメラの設定をおこないます。

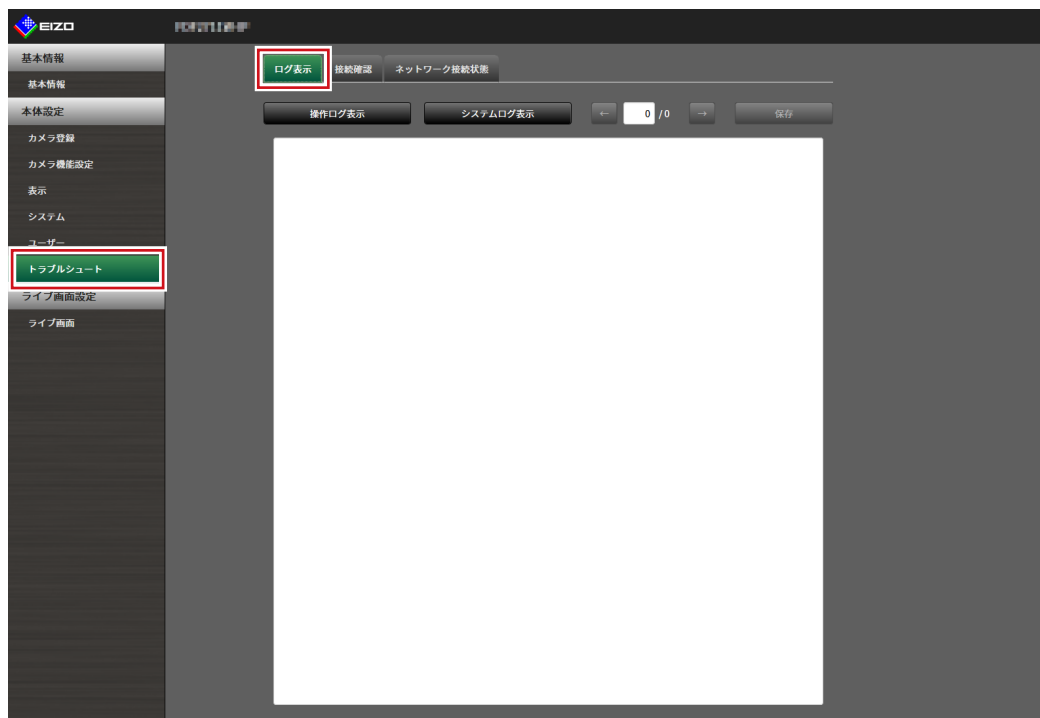
[「4-9. ネットワークカメラのプリセット位置を登録する」](#) (P.65)

3-19. ログを確認する

このシステムでは、操作ログおよびシステムログが記録されています。システムの現在や過去の状況を確認したり、問題が起きたときに原因を探ったりするときに使うことができます。

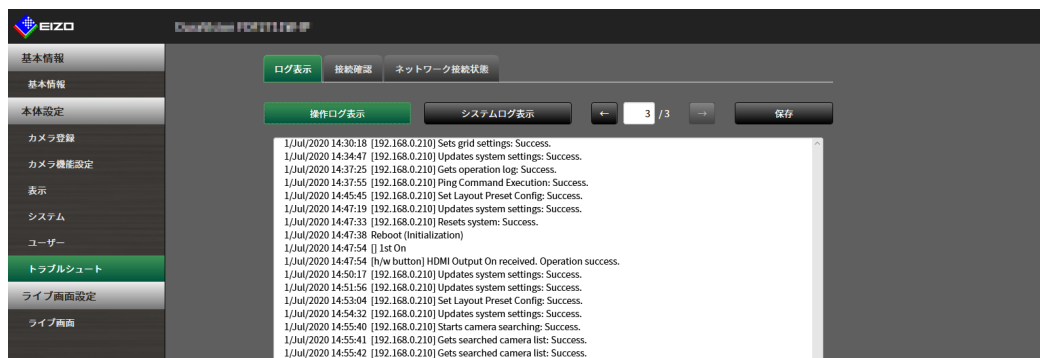
1. 「トラブルシューティング」の「ログ表示」を選択します。

「ログ表示」画面が表示されます。



2. 「操作ログ表示」または「システムログ表示」を選択します。

下のエリアにログが表示されます。



3-20. ログを保存する

操作ログおよびシステムログを保存します。

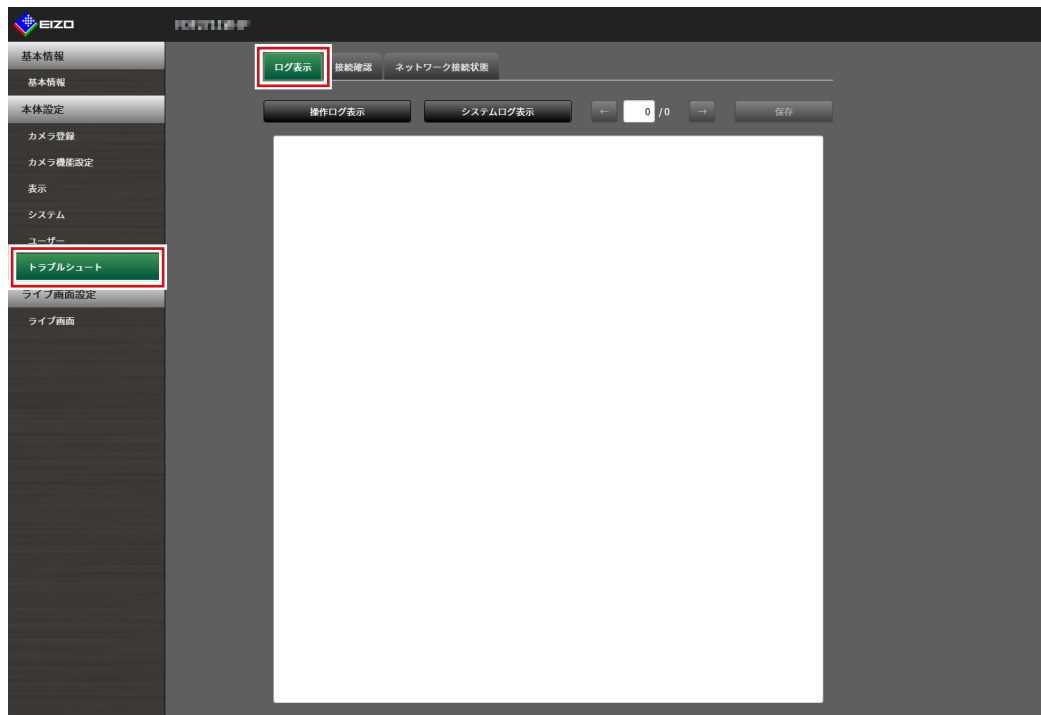
システムの現在や過去の状況を確認したり、問題が起きたときに原因を探ったりするときに使います。

注意点

- この機能は、Webブラウザをお使いの場合のみ使用することができます。

1. 「トラブルシューティング」の「ログ表示」を選択します。

「ログ表示」画面が表示されます。



2. 「操作ログ表示」または「システムログ表示」を選択します。

下のエリアにログが表示されます。

3. 「保存」を選択します。

保存先選択のダイアログボックスが開きます。

4. 保存先を選択します。

5. 「保存」を選択します。

3-21.カメラの接続確認をおこなう

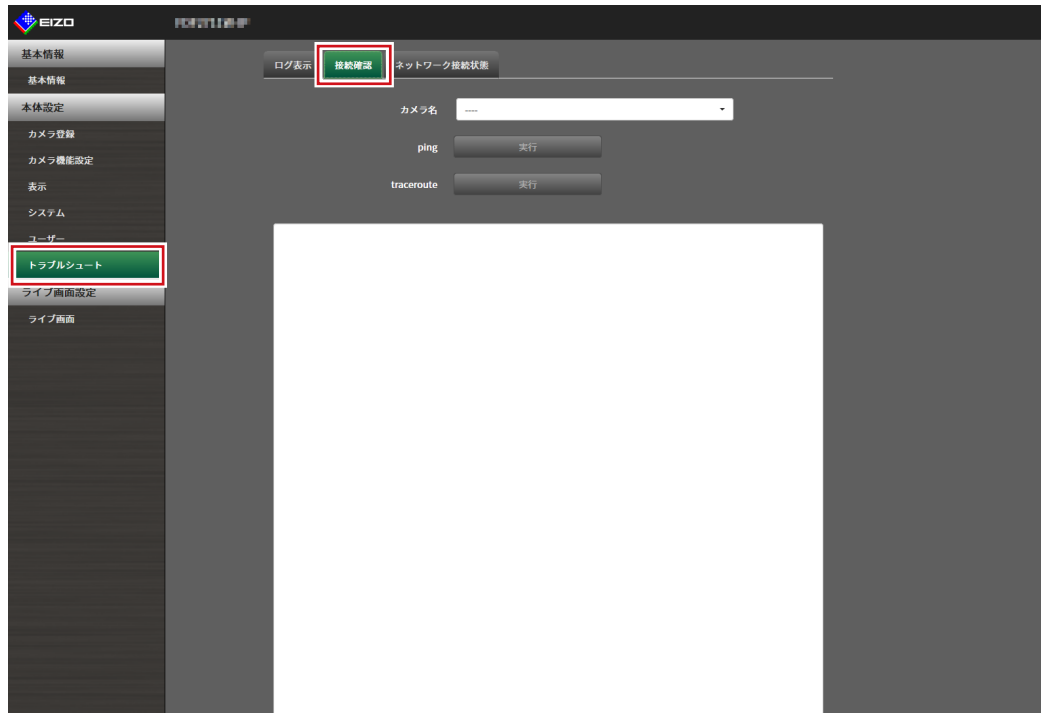
ネットワークカメラの接続状態を確認することができます。

注意点

- ・この機能は、Webブラウザをお使いの場合のみ使用することができます。

1. 「トラブルシューティング」の「接続確認」を選択します。

「接続確認」画面が表示されます。



2. 「カメラ名」を選択します。

3. 「ping」または「traceroute」の「実行」を選択します。

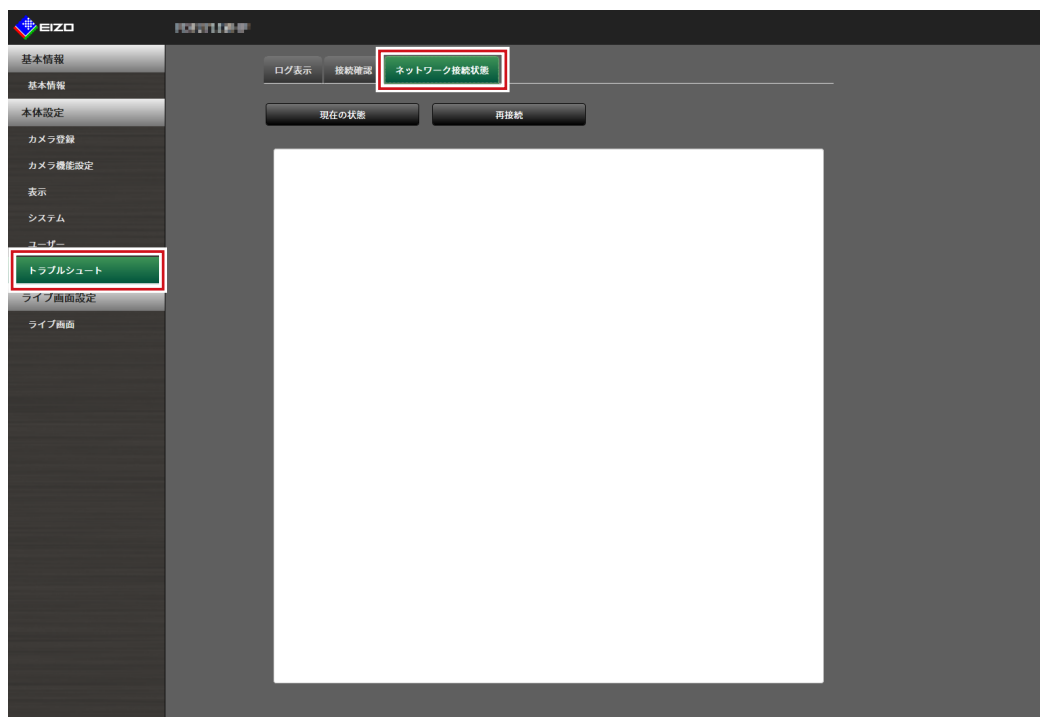
下のエリアに接続状態が表示されます。



3-22. ネットワークの接続状態を確認する

1. 「トラブルシューティング」の「ネットワーク接続状態」を選択します。

「ネットワーク接続状態」画面が表示されます。



2. 「現在の状態」を選択します。

下のエリアに接続状態が表示されます。

参考

- ・「再接続」を選択すると、ネットワーク状態がリセットされます。接続状態は表示されません。

第4章 ネットワークカメラの管理

ネットワークカメラの登録や機能設定などをおこない、システムへ反映します。

これらの操作は、アプリケーション画面、またはWebブラウザからおこなうことができます。

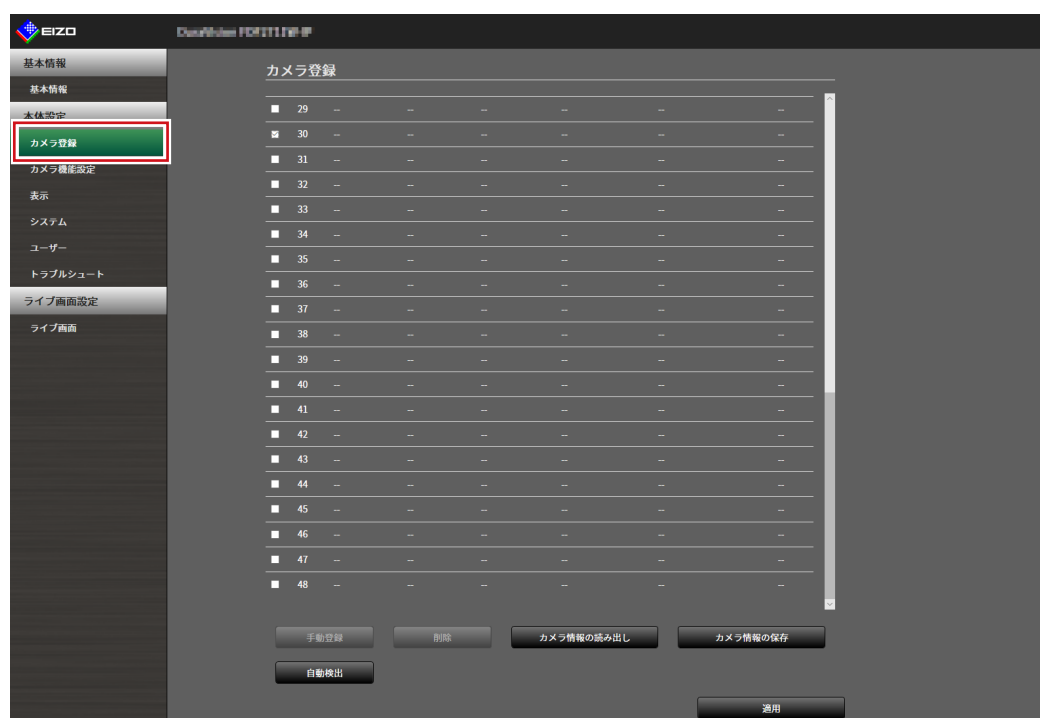
本章では、Webブラウザの画面で説明をしていますが、一部の機能を除き、どちらでも同じ機能を使うことができます。

4-1. ネットワークカメラを自動検出して登録する

この製品と同じネットワーク上に接続されたネットワークカメラを自動で検出し、登録することができます。

1. 「カメラ登録」を選択します。

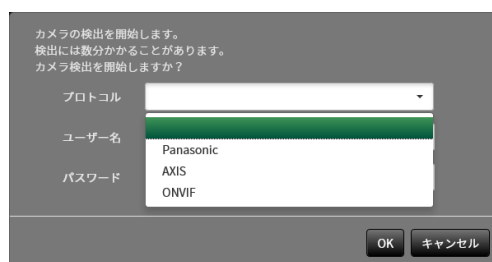
カメラの登録情報が一覧表示された画面が表示されます。



2. 画面下方の「自動検出」を選択します。

3. 「プロトコル」を選択します。

「Panasonic」「AXIS」「ONVIF」から選択できます。



4. ネットワークカメラの「ユーザー名」「パスワード」を入力し、「OK」を選択します。
検出結果が表示されます。



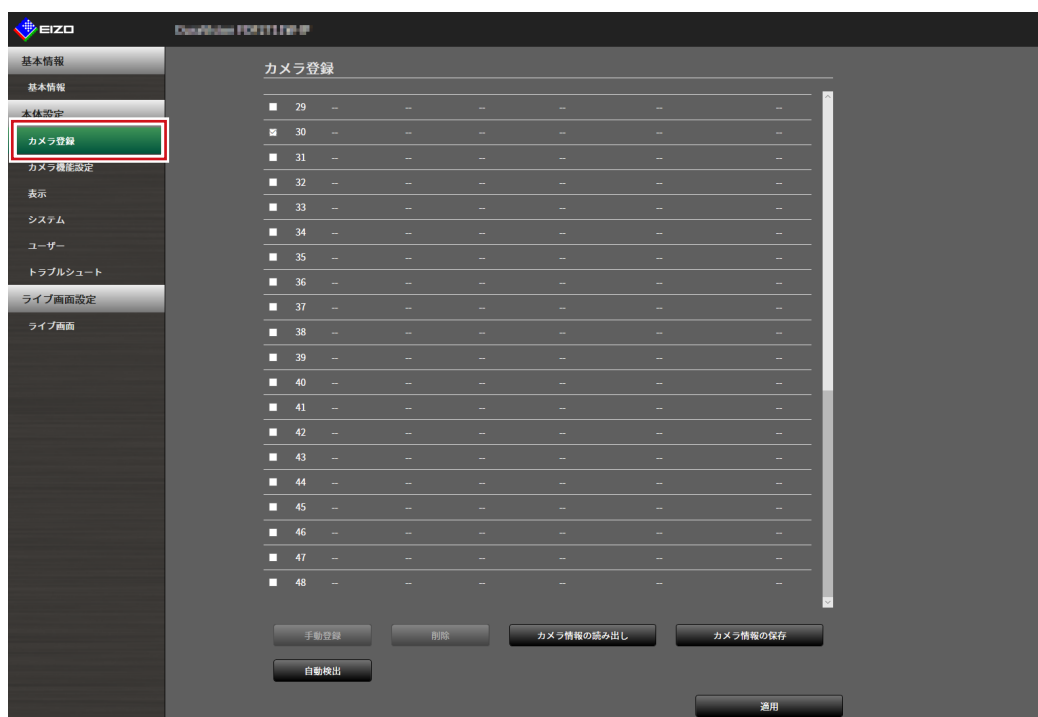
5. 登録するカメラにチェックをいれ、「追加」を選択します。
カメラが登録されます。

6. 「適用」を選択します。

4-2. ネットワークカメラを手動で登録する

1. 「カメラ登録」を選択します。

カメラの登録情報が一覧表示された画面が表示されます。



2. カメラを登録する位置を選択します。

登録する位置番号のチェックボックスにチェックをいれてください。

3. 画面下方の「手動登録」を選択します。

「カメラ情報設定」のダイアログボックスが表示されます。

4. 各項目を設定し、「OK」を選択します。

項目	内容	設定範囲
カメラ名 ^{※1}	カメラ名を入力します。「カメラ名取得」を選択すると、ネットワークカメラ側からカメラ名を自動的に取得します。 ^{※2} ・「プロトコル」が「DirectUri」または「SRT」の場合は「カメラ名取得」を使用できません。	英数字、かな ^{※3} 、漢字 ^{※3} （24文字まで）
IPアドレス	ネットワークカメラのIPアドレスを入力します。	0.0.0.1 ～255.255.255.254
「Ping」ボタン	カメラに対して接続テスト（Pingコマンドの実行）をおこないます。	-
ポート	ネットワークカメラのポート番号を入力します。	1 ～ 65535 ^{※4}
SSL ^{※5}	セキュア通信をおこないます。	-
証明書の検証	SSL通信時の証明書の検証について選択します。 注意点 ・「証明書の検証」が「オン」の場合、ネットワークカメラのルート証明書が、「証明書設定」の「ルート証明書」に登録されている必要があります。	オン / オフ
プロトコル	カメラを制御するプロトコルを選択します。	Panasonic / AXIS / ONVIF / DirectUri / SRT ^{※6}
ユーザー名 ^{※7}	ネットワークカメラへアクセスするときに使用するユーザー名を入力します。	英数字、記号（32文字まで）
パスワード ^{※7}	ネットワークカメラへアクセスするときに使用するパスワードを入力します。	英数字、記号（32文字まで）
メディアプロファイル ^{※8}	ネットワークカメラのメディアプロファイルを選択します。「プロファイル取得」を選択すると、ネットワークカメラ側からプロファイルの一覧を取得します。	ElZO_Profile / 各カメラのプロファイル
配信方式 ^{※8}	カメラ映像の配信方式を選択します。	ユニキャスト / マルチキャスト
URI ^{※9}	「プロトコル」が「DirectURI」：rtsp:// または rtp:// から始まるURIを設定します。 「プロトコル」が「SRT」：srt:// から始まるURIを設定します。	英数字（1023文字まで）
接続方式 ^{※10}	カメラ映像の接続方式を選択します。	RTP over UDP ^{※11} / RTP over RTSP / SRTP over UDP ^{※12}
ストリーム ^{※13}	ストリームの形式を選択します。	1 / 2 / 3 / 4
チャンネル ^{※13}	ストリームのチャンネルを選択します。	1 / 2 / 3 / 4
RS485PTZ制御 ^{※13}	RS485通信に対応したカメラのPTZ操作をについて選択します。	オン / オフ
ビデオストリーム ^{※14}	ビデオストリームの形式を選択します。	カメラにより異なる
ストリームプロファイル ^{※14}	ストリームプロファイルを選択します。	カメラにより異なる
レイテンシ ^{※15}	レイテンシを設定します。	20 ms ～ 8000 ms

パスフレーズ※15	パスフレーズを設定します。	英数字、記号（79文字まで）
-----------	---------------	----------------

- ※1 「IPアドレス」 / 「ポート」 / 「ユーザー名」 / 「パスワード」を入力した場合にのみ取得できます。
- ※2 「プロトコル」が「DirectUri」または「SRT」の場合は、「カメラ名取得」ボタンが表示されません。
- ※3 Webブラウザで表示の場合のみ入力できます。
- ※4 「プロトコル」が「DirectUri」で、「URI」がrtp://から始まる場合は、1024～65534になります。
- ※5 「プロトコル」が「Panasonic」「AXIS」「ONVIF」の場合のみ設定できます。
- ※6 エディションがエンタープライズで、かつ、拡張機能の「SRT」が有効な場合のみ設定できます。なお、接続モードはCallerモードのみサポートします。
- ※7 管理者権限を持つユーザー名、パスワードを入力してください。詳細はネットワークカメラの取扱説明書をご参照ください。
- ※8 「プロトコル」が「ONVIF」の場合のみ設定できます。
- ※9 「プロトコル」が「DirectUri」または「SRT」の場合のみ設定できます。
- ※10 「プロトコル」が「Panasonic」「AXIS」「ONVIF」「DirectUri」の場合のみ設定できます。
- ※11 次の場合は「RTP over UDP」のみ設定できます。
- ・「プロトコル」が「ONVIF」で、「配信方式」が「マルチキャスト」の場合
 - ・「プロトコル」が「DirectUri」で、「URI」に「rtp://マルチキャストアドレス」が正しく入力されている場合
- ※12 次の条件をすべて満たす場合に設定できます。
- ・エディションが「エンタープライズ」
 - ・「プロトコル」が「AXIS」
 - ・「SSL」にチェックが入っている
 - ・カメラのSRTP設定が有効になっている
- ※13 「プロトコル」が「Panasonic」の場合のみ設定できます。
- ※14 「プロトコル」が「AXIS」の場合のみ設定できます。
- ※15 「プロトコル」が「SRT」の場合のみ設定できます。

手順1のカメラの登録情報一覧画面へ戻ります。

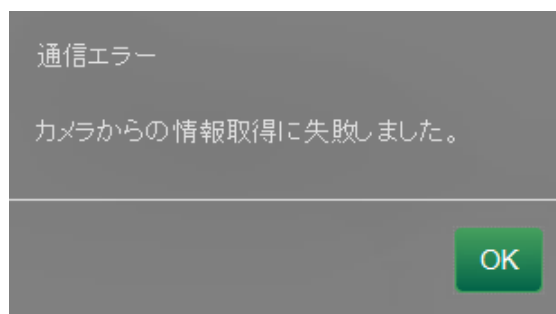
5. 「適用」を選択します。

確認メッセージが表示されます。

6. 「OK」を選択します。

参考

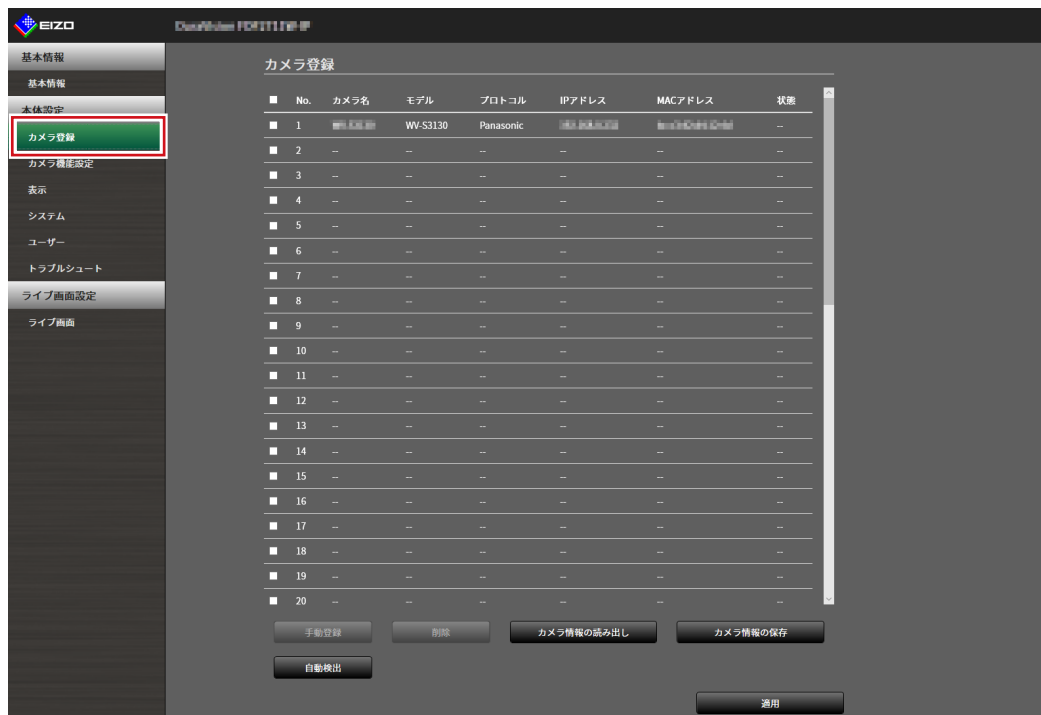
- ・「カメラ名取得」、「プロファイル取得」の情報の取得に失敗した場合は、次のメッセージが表示されます。再度、情報を取得してください。



4-3. ネットワークカメラの情報を変更する

1. 「カメラ登録」を選択します。

カメラの登録情報が一覧表示された画面が表示されます。



2. 変更するカメラの位置番号を選択します。

変更するカメラの位置番号のチェックボックスにチェックをいれてください。

3. 「手動登録」を選択します。

「カメラ情報設定」のダイアログボックスが表示されます。

4. 各項目を設定し、「OK」を選択します。

手順1のカメラの登録情報一覧画面へ戻ります。



参考

- 各項目の詳細は、「4-2. ネットワークカメラを手動で登録する」の手順3 (P.52) を参照してください。

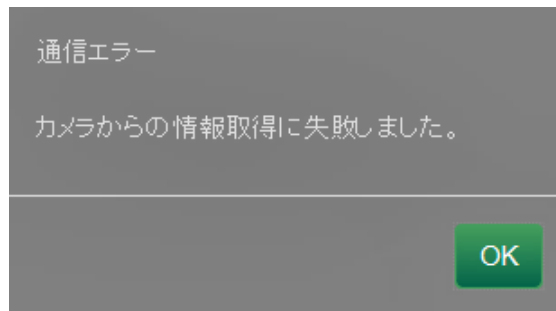
5. 「適用」を選択します。

確認メッセージが表示されます。

6. 「OK」を選択します。

参考

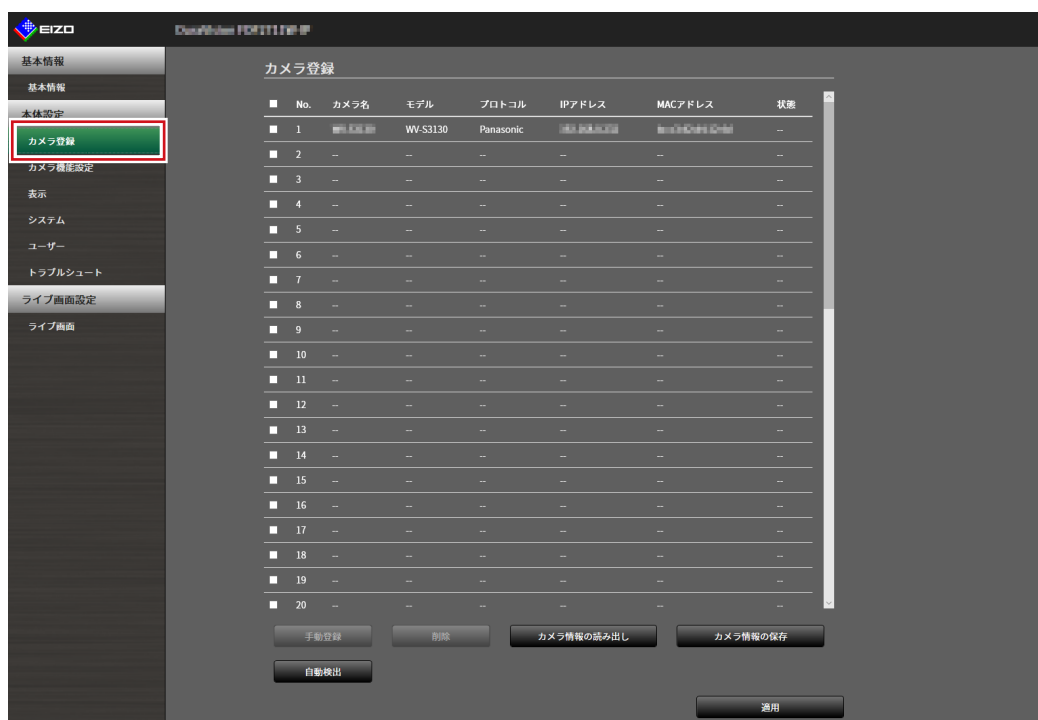
- ・「カメラ名取得」、「プロファイル取得」の情報の取得に失敗した場合は、次のメッセージが表示されます。再度、情報を取得してください。



4-4. ネットワークカメラを削除する

1. 「カメラ登録」を選択します。

カメラの登録情報が一覧表示された画面が表示されます。

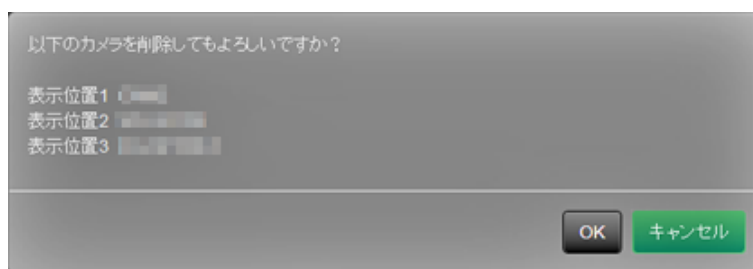


2. 削除するカメラを選択します。

削除するカメラの位置番号のチェックボックスにチェックをいれてください。

3. 画面下方の「削除」を選択します。

確認メッセージが表示されます。



4. 「OK」を選択します。

カメラの登録情報が一覧表示された画面へ戻ります。

5. 「適用」を選択します。

確認メッセージが表示されます。

6. 「OK」を選択します。

4-5. ネットワークカメラの情報をエクスポートする

カメラの登録一覧情報を、CSVファイルで保存することができます。

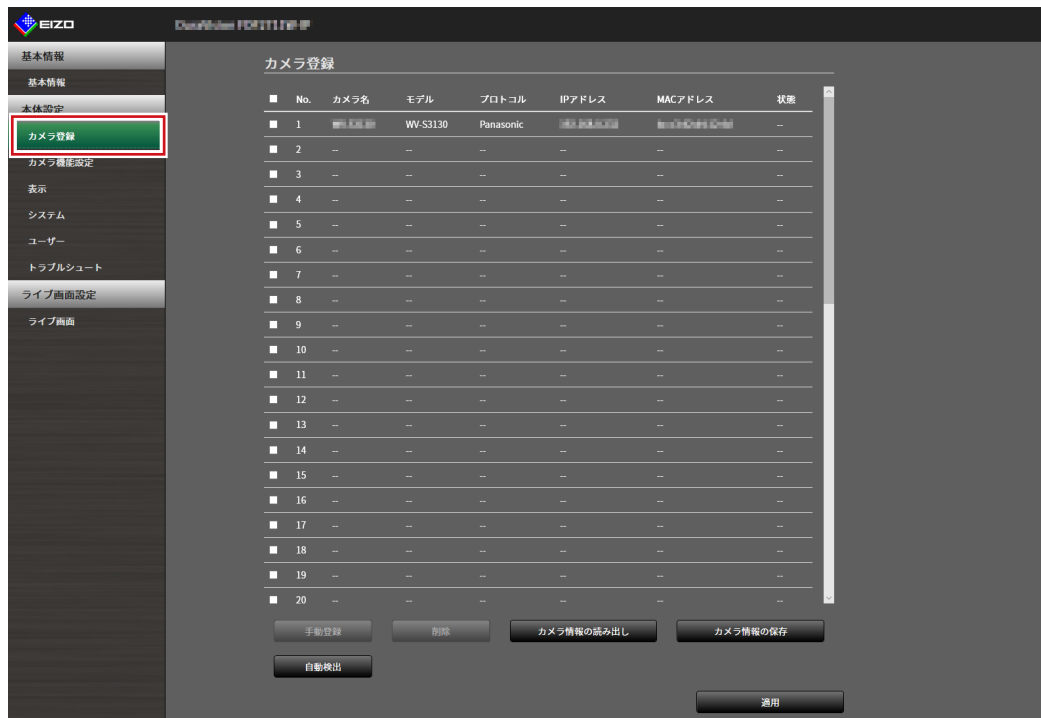
書き出したファイルは、ネットワークカメラの情報を移行するときなどに使用できます。

注意点

- この機能は、Webブラウザをお使いの場合のみ使用することができます。

1. 「カメラ登録」を選択します。

カメラの登録情報が一覧表示された画面が表示されます。



2. 「カメラ情報の保存」を選択します。

情報一覧に表示されているカメラ情報が記載されたCSVファイルがエクスポートされます。

参考

- 保存ファイル名：dx0211-ip_CameraInfo_yyyymmdd.csv（yyymmddはこの製品の日時になります。）

4-6. ネットワークカメラの情報をインポートする

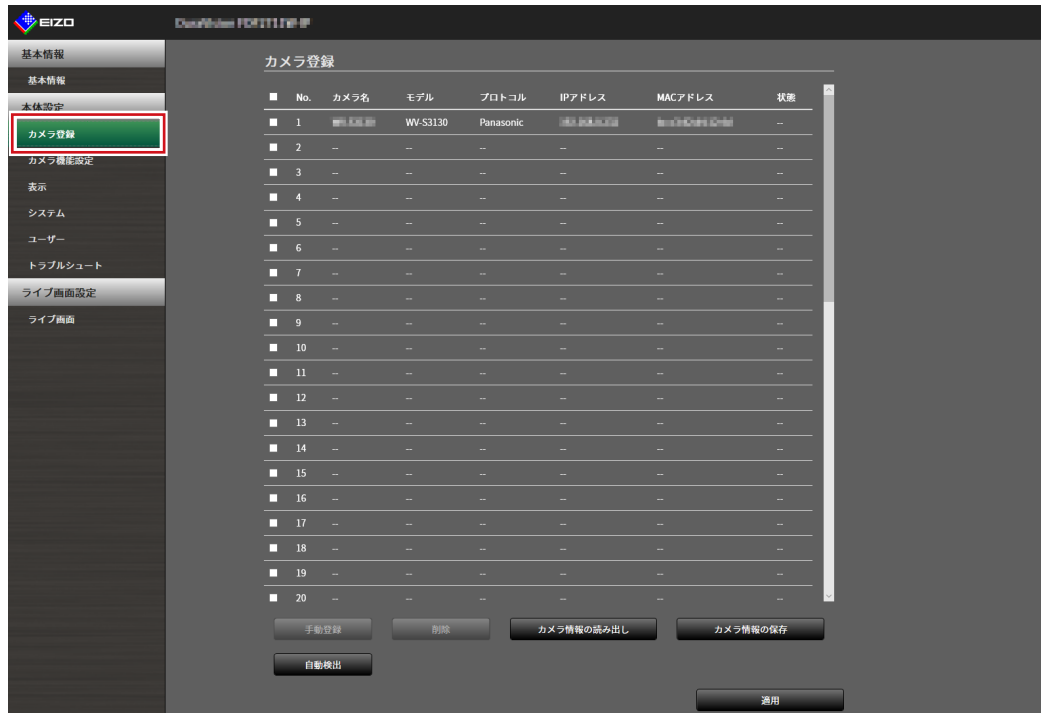
カメラの追加候補を記載したCSVファイルを読み込んで、登録できます。

注意点

- この機能は、Webブラウザをお使いの場合のみ使用することができます。

1. 「カメラ登録」を選択します。

カメラの登録情報が一覧表示された画面が表示されます。



2. 「カメラ情報の読み出し」を選択します。

ファイル選択のダイアログボックスが開きます。

3. ネットワークカメラ情報が記載されているCSVファイルを選択し、「開く」を選択します。

ネットワークカメラの候補一覧が表示されます。



4. カメラの候補一覧から追加するカメラを選択して「追加」を選択します。

手順1のカメラの登録情報一覧画面へ戻ります。

5. 「適用」を選択します。

設定確認のダイアログボックスが表示されます。

6. 「OK」を選択します。

参考

- 読み込みが可能なカメラの候補数は、255台です。
 - 読み込むことができるCSVファイルは次のとおりです。
 - Webブラウザ画面からエクスポートされたCSVファイル
 - ユーザーが作成したCSVファイル
 - CSVファイルのエクスポート方法については「[4-5. ネットワークカメラの情報をエクスポートする](#)」(P.58)を参照してください。
-

4-7. ネットワークカメラの時刻を設定する

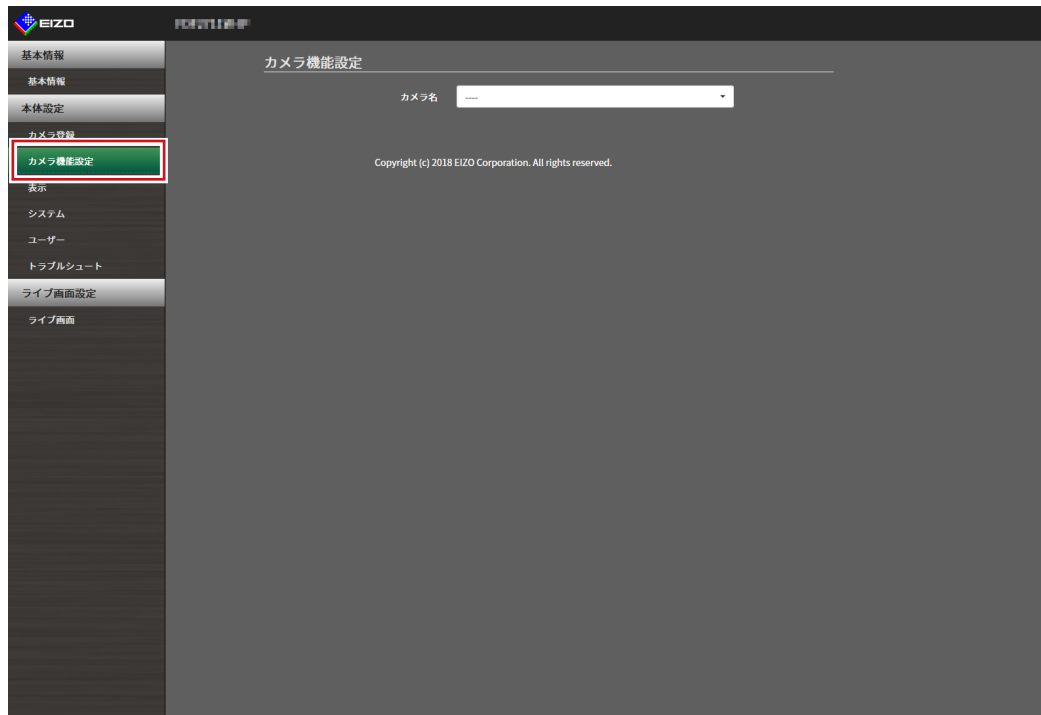
ネットワークカメラの時刻をこの製品の時刻に合わせます。

注意点

- ・カメラがこの機能に対応していない場合は設定できません。
- ・カメラ登録時の「プロトコル」が「Panasonic」または「ONVIF」のときのみ設定可能です。

1. 「カメラ機能設定」を選択します。

「カメラ機能設定」画面が表示されます。



2. 「カメラ名」で設定するネットワークカメラを選択します。

選択したネットワークカメラに関する情報が表示されます。

3. 「カメラ情報表示/時刻設定」の「実行」を選択します。

時計が同期します。

参考

- ・登録したカメラの「プロトコル」が「Panasonic」の場合は、次の設定が可能です。
 - カメラ情報表示
 - 時間表示
 - 表示位置

4-8. 配信映像の画質を設定する

ネットワークカメラが配信する映像の画質を設定します。

参考

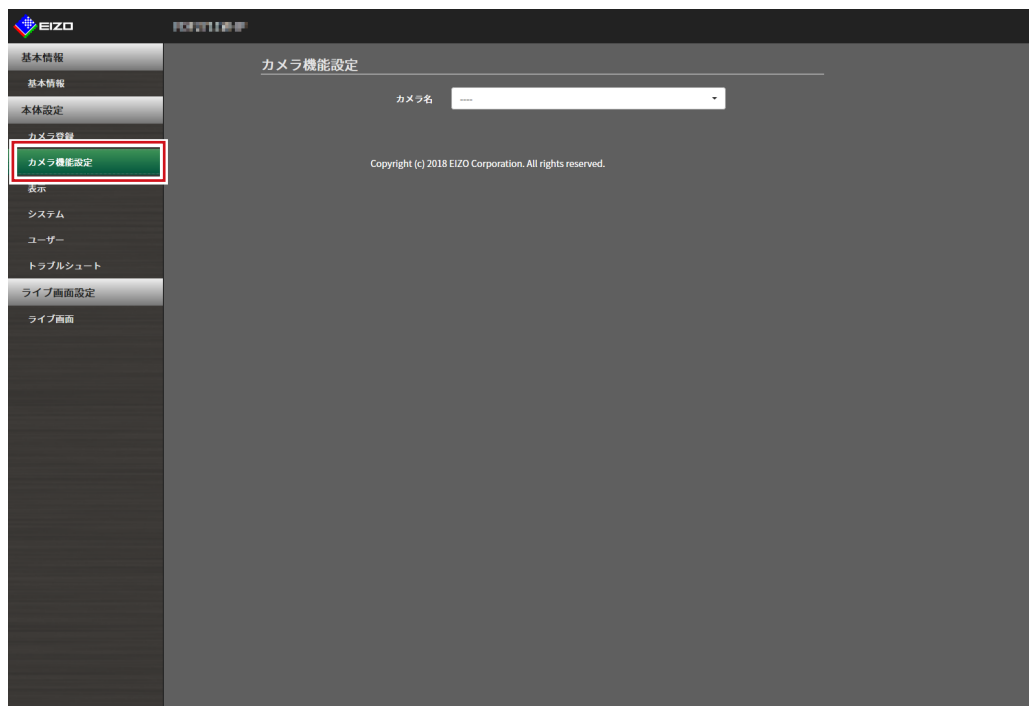
- この製品は、H.264、H.265（Panasonicのみ対応）とMJPEGの動画圧縮方式に対応しています。

注意点

- レコーダなどの機器がネットワークカメラに接続されている場合、それらの機器の録画や表示に影響を与える可能性があります。
- 「プロトコル」が「DirectUri」または「SRT」のネットワークカメラの場合は、設定できません。

1. 「カメラ機能設定」を選択します。

「カメラ機能設定」画面が表示されます。



2. 「カメラ名」で設定するネットワークカメラを選択します。

選択したネットワークカメラに関する情報が表示されます。

3. 「ビデオ設定」で各項目を設定します。

プロトコル			項目	内容	設定範囲
Panasonic	AXIS	ONVIF			
		✓	メディアプロファイル	プロファイルを選択します。	EIZO_Profile / 各カメラのプロファイル
		✓	エンコーダー	エンコーダー設定を選択します。	カメラの仕様による
✓※3	✓	✓※3	圧縮形式	圧縮形式を選択します。	H.264 / H.265 / MJPEG
✓※3	✓	✓	解像度	解像度を設定します。	カメラの仕様による
✓※4	✓	✓	フレームレート	フレームレート（映像の更新間隔）を設定します。	カメラの仕様による
		✓	エンコード間隔	エンコードの間隔を設定します。	カメラの仕様による
✓	✓	✓	ビットレート(最大)	最大ビットレートを設定します。	0～8192kbps
		✓	映像品質	画質を設定します。数値が大きいほど高画質になります。	カメラの仕様による
		✓	GOV長さ※1	Iフレーム間隔を設定します。	カメラの仕様による
		✓	H.264プロファイル※1	H.264規格のプロファイルを選択します。	ベースライン / メイン / 拡張 / ハイ
✓※3	✓※3	✓※3	接続方式	カメラ映像の接続方式が表示されます。	RTP over UDP / RTP over RTSP / SRTP over UDP
✓※3	✓	✓	配信方式	配信方式を選択します。	ユニキャスト / マルチキャスト
✓※3	✓	✓※3	マルチキャストアドレス※2	マルチキャスト配信する際のマルチキャストアドレスを設定します。	224.0.0.0～239.255.255.255
✓※3	✓	✓※3	マルチキャストポート※2	マルチキャスト配信する際のマルチキャストポート番号を設定します。	1824～65534 偶数のみ
✓※3	✓	✓※3	マルチキャストTTL※2	マルチキャスト配信する際のネットワークTTL値を設定します。	カメラの仕様による
✓			リフレッシュ間隔	画像をリフレッシュする間隔（フレーム間隔）を設定します。	0.2秒～5秒
✓			配信モード	動画のビットレート配信モードを設定します。	固定ビットレート / フレームレート指定 / ベストエフォート
✓※5			ビットレート(最小)	配信する動画の最小ビットレートを設定します。	0～8192kbps
✓※6			画質	配信する動画の画質を設定します。	画質優先 / 標準 / 動き優先
	✓		ビデオストリーム	カメラ表示で使用する表示モードを選択します。	カメラ仕様による
	✓		ストリームプロファイル	カメラが保持しているプロファイルを選択します。	EIZO_Profile / 各カメラのプロファイル
	✓※3		回転	画像の回転方向を選択します。	0 / 90 / 180 / 270
	✓※3		GOP長さ※1	動画のGOP長さを選択します。	カメラ仕様による
	✓		優先度※1	動画圧縮の優先度を設定します。	なし / フレームレート優先 / 画質

※1 「圧縮形式」に「H.264」を選択した場合に表示されます。

※2 「配信方式」に「マルチキャスト」を選択した場合に表示されます。

※3 Read Only

※4 「配信モード」が「フレームレート指定」のときのみ調整可能

※5 「配信モード」が「ベストエフォート」のときのみ調整可能

※6 「配信モード」が「フレームレート指定」以外るとき調整可能

参考

- 「プロトコル」が「DirectUri」または「SRT」のネットワークカメラの場合は、設定内容が表示されます。
 - カメラ登録時の「プロトコル」が「Panasonic」の場合、「その他カメラ設定」で次の設定が可能です。
 - パン/チルトフリップ
 - 上下反転
 - ランプ表示
-

4. 「適用」を選択します。

設定完了画面が表示されます。

5. 「OK」を選択します。

注意点

- ネットワークカメラによっては、設定した値が反映されない場合があります。カメラの仕様を確認してください。
 - 解像度など画質設定を変更すると、同じ「エンコーダー」を使用している他の録画機器や表示機器の画質に影響を与える可能性があります。
 - 画質設定の変更による影響をご確認の上、設定してください。
-

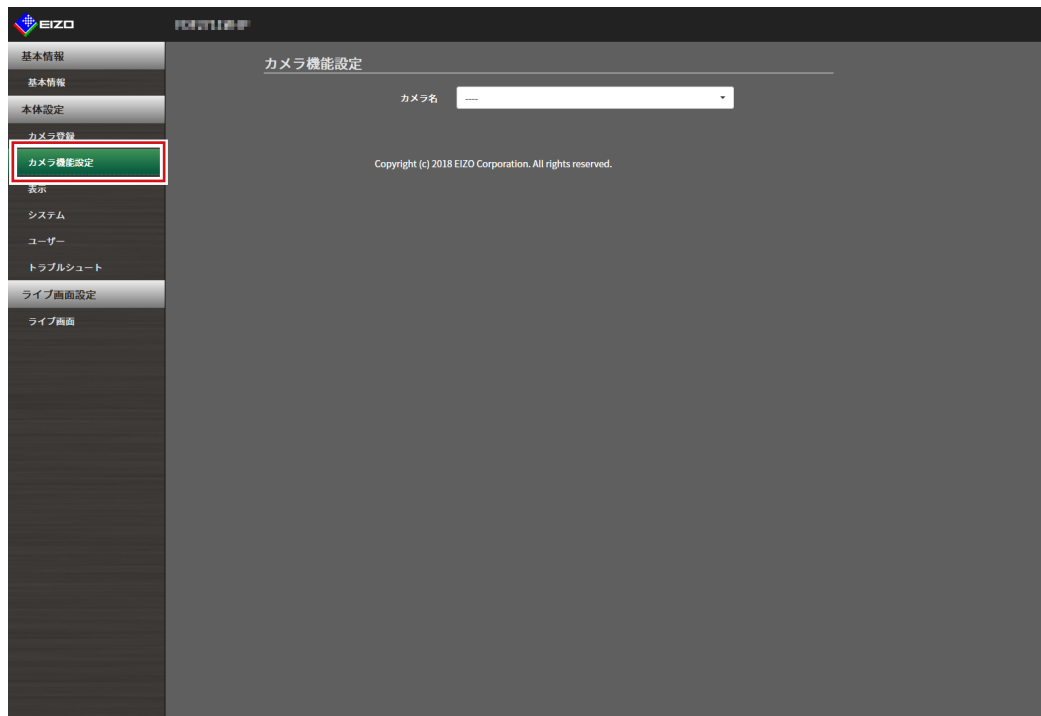
4-9. ネットワークカメラのプリセット位置を登録する

注意点

- ・アプリケーション画面で、かつ、カメラ登録時の「プロトコル」が「ONVIF」の場合のみ設定可能です。

1. 「カメラ機能設定」を選択します。

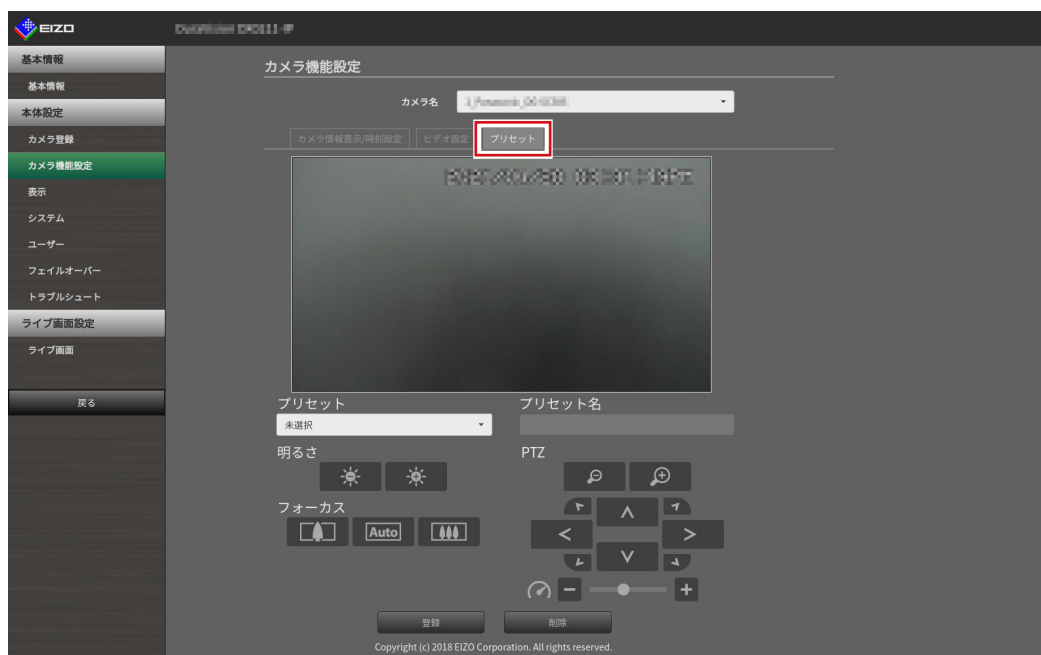
「カメラ機能設定」画面が表示されます。



2. 「カメラ名」で設定するネットワークカメラを選択します。

選択したネットワークカメラに関する情報が表示されます。

3. 「プリセット」を選択します。



4. 各項目を設定します。

項目	内容	設定範囲
プリセット	プリセットを選択します。	未選択 / 新規 / 登録済みのプリセット※ ¹ / HOME
プリセット名	プリセットの名前を設定します。	Unicode (255文字まで) ※ ²
明るさ	ネットワークカメラの明るさを調整します。	-
フォーカス	ネットワークカメラの焦点を調節します。	-
PTZアジャスト	ネットワークカメラの表示倍率、水平位置（パン）と垂直位置（チルト）、PTZ操作の動作量を調節します。	-

※¹ 登録済みのプリセットがある場合に表示されます。

※² カメラの仕様によっては条件を満たしていても登録できない場合があります。

5. 「登録」をクリックします。

参考

- ・「削除」をクリックすると、選択している登録済みのプリセット設定が削除されます。

第5章 ライブ画面の設定

ライブ画面設定では、ライブ画面のレイアウト変更やシステムの現在の状態など、表示の設定をおこないます。

5-1. カメラ映像の表示位置を設定する

ネットワークカメラの映像を表示する位置を設定します。

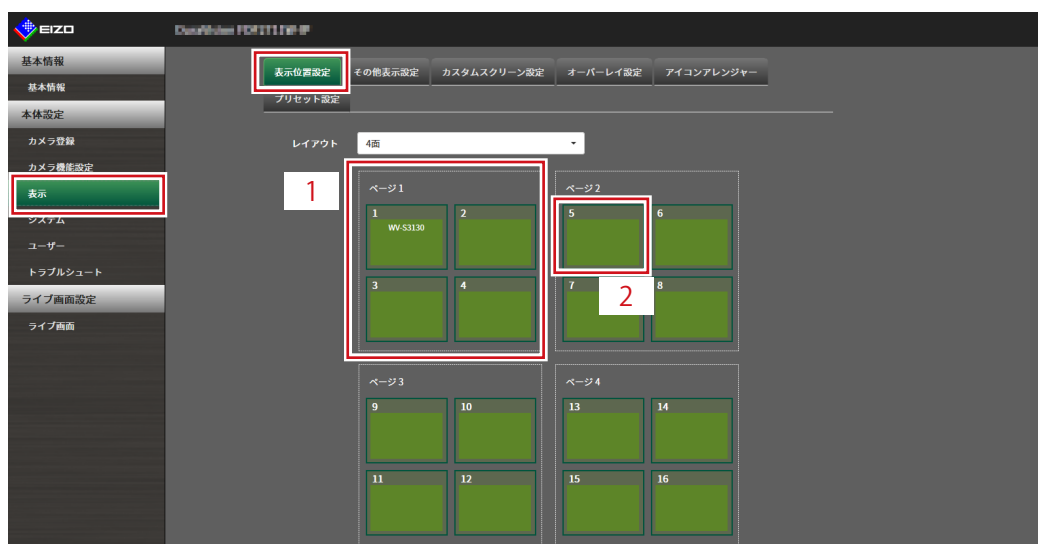
カメラ名をドラッグ&ドロップすることで、移動元と移動先に表示するカメラが入れ替わります。

参考

- 登録しているネットワークカメラの、すべての表示位置の設定が可能です。

1. 「表示」の「表示位置設定」を選択します。

「表示位置設定」画面が表示されます。



No.	説明
1	映像表示エリアに1度に表示されるカメラのグループです。
2	映像表示エリア内に表示されるカメラの位置です。登録したカメラ名が表示されます。

2. ライブ画面のレイアウトを選択します。

「レイアウト」のリストボックスから選択します。

参考

- レイアウトを選択すると、ページ内の表示が選択した状態に変化します。表示状態をイメージしながら設定することができます。
 - 画面が表示したときのはじめの表示位置は、現在製品に設定されている表示位置が表示されます。
-

3. 移動するカメラ名を選択し、ドラッグした状態で移動先のカメラ名へドロップします。

移動元と移動先のカメラ映像の表示位置が入れ替わります。

例) レイアウト4面の場合

1. ページ1の「表示位置1」を選択します。
2. ドラッグした状態でページ2の「表示位置5」にドロップします。
「表示位置1」のカメラと「表示位置5」のカメラが入れ替わります。
カメラ映像の表示位置は移動せずに、内枠四角のカメラ名のみが移動します。

4. 「適用」を選択します。

カメラ映像の表示位置が反映されます。「リセット」を選択すると、設定変更中の情報は破棄され、現在の製品の表示設定になります。

参考

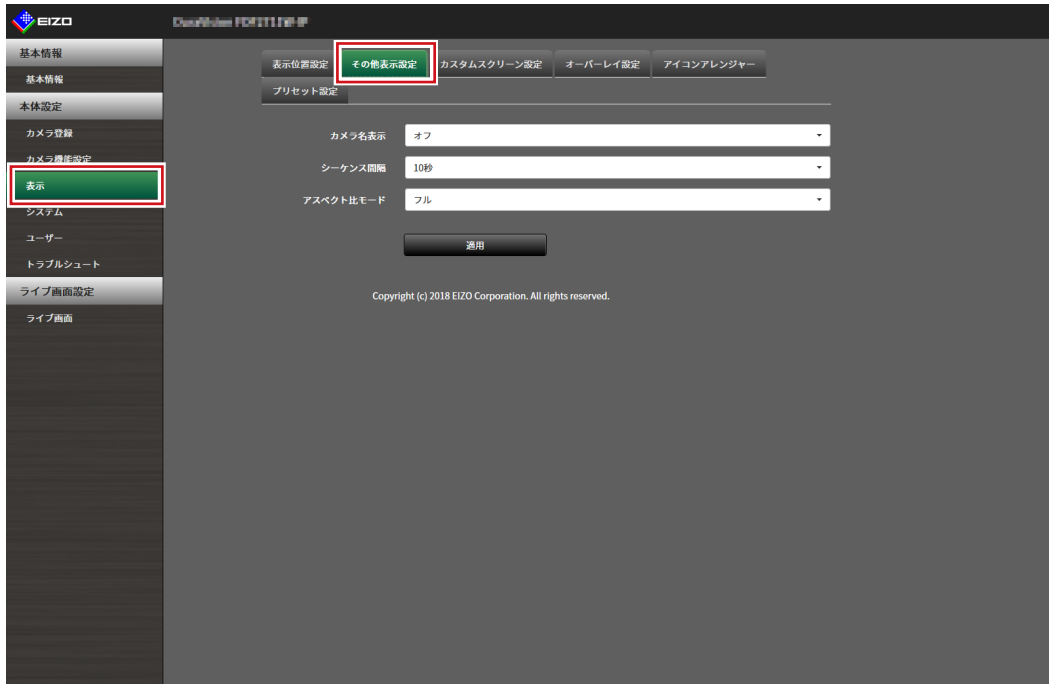
- Webブラウザ画面で表示の場合、カメラ名の割り当てがあるフレームは、フレームにカメラのWebページリンクが埋め込まれています。（「プロトコル」が「DirectUri」または「SRT」のネットワークカメラの場合を除く）
カメラ名をクリックすると別ウィンドウでカメラのWebページが開きます。
-

5-2. カメラ映像の表示方法を設定する

ライブ画面に表示するカメラ名の表示 / 非表示、画面の切り替え間隔、アスペクト比の設定をおこないます。

1. 「表示」の「その他表示設定」を選択します。

「その他表示設定」画面が表示されます。



2. 各項目を設定します。

項目	内容	設定範囲
カメラ名表示	登録されているカメラ名をライブ画面に表示する / しないを設定します。（カメラ名は映像の左上に表示されます。）	オン / オフ
シーケンス間隔	シーケンス表示時に画面が切り替わる間隔を設定します。	5秒 ～ 60秒
アスペクト比モード	ネットワークカメラから配信される映像のアスペクト比とモニターの画像表示エリアのアスペクト比が異なる場合に優先する方を設定します。「レイアウト」に「カスタムスクリーン」を選択した場合に「アスペクト」を選択すると、カメラ映像ごとに「フル」または「アスペクト」を選択できます。詳細は「 5-3. カスタムスクリーンのレイアウトを設定する 」(P.70)を参照してください。	フル / アスペクト

3. 「適用」を選択します。

設定完了画面が表示されます。

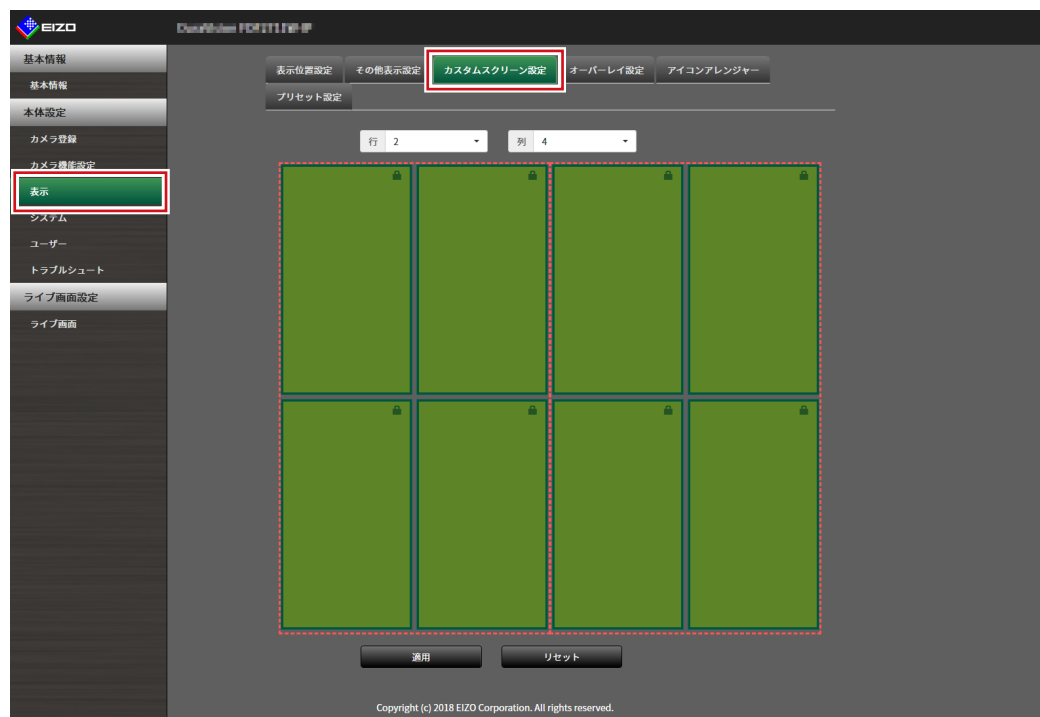
4. 「OK」を選択します。

5-3. カスタムスクリーンのレイアウトを設定する

ライブ画面の「レイアウト」で「カスタムスクリーン」を選択したときの表示レイアウトの設定をおこないます。

1. 「表示」の「カスタムスクリーン設定」を選択します。

「カスタムスクリーン設定」画面が表示されます。



参考

- ・「マルチモニター設定」で「拡張」に設定している場合、各モニターに表示される範囲が赤い点線で示されます。
- ・表示位置枠内の  をクリックすると、任意のカメラ映像の表示位置を固定することができます。ページ切り替えを実行しても、指定したカメラ映像の表示位置は維持されます。この機能は「カスタムスクリーン設定」でのみ使用できます。

2. 「行」および「列」の数をリストボックスから選択します。

選択した行数および列数に応じた画面に変化します。

3. カメラの表示位置を選択し、ドラッグして連結する表示位置へドロップします。

選択した表示位置が連結されます。

4. 「適用」を選択します。

表示位置の連結が反映されます。「リセット」を選択すると、設定変更中の情報は破棄され、現在の製品の表示設定になります。

参考

- ・連結を解除するには、連結した表示位置をクリックします。または、行および列をリストボックスで変更します。
- ・「アスペクト比モード」で「アスペクト」に設定すると、カメラ表示位置に「フル」または「アスペクト」が表示され、選択することによって設定が切り替わります。
- ・「アスペクト比モード」の設定については、「[5-1. カメラ映像の表示位置を設定する](#)」(P.67)を参照してください。

5-4. 表示するレイアウトアイコンを変更する

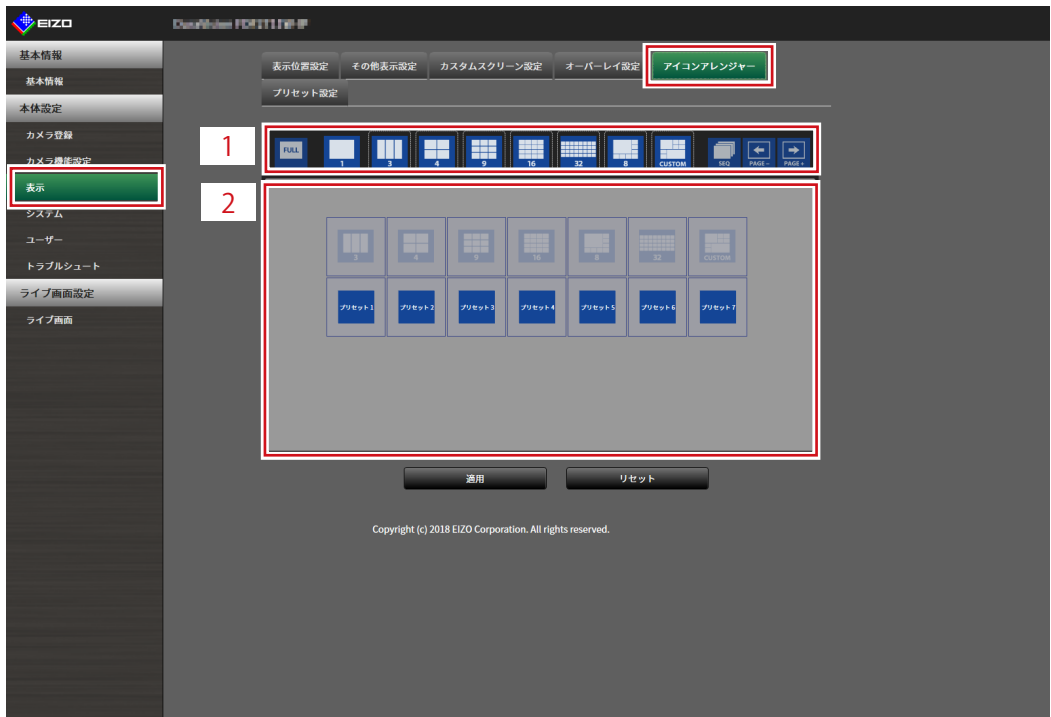
ライブ画面の表示メニューに表示するアイコンを変更できます。

注意点

- この機能は、ソフトウェアのエディションが「エンタープライズ」の場合のみ使用することができます。ソフトウェアのエディションについては、「3-10. ライセンス認証をおこなう」(P.27)を参照してください。

1. 「表示」の「アイコンアレンジャー」を選択します。

「アイコンアレンジャー」画面が表示されます。



No.	説明
1	アイコン登録エリア
2	アイコン選択エリア

2. 変更したいアイコンをドラッグし、アイコン登録エリアの表示したい位置にドロップします。

参考

- 移動先に別のアイコンが登録されている場合は、アイコンの位置が入れ替わります。
- 表示メニューから削除したい場合は、アイコン登録エリアからアイコン選択エリアにドラッグ＆ドロップします。
-      の設定は変更できません。

3. 「適用」を選択します。

5-5. レイアウトのプリセットを設定する

ライブ画面の表示レイアウトとカメラの配置をプリセットとして保存できます。

注意点

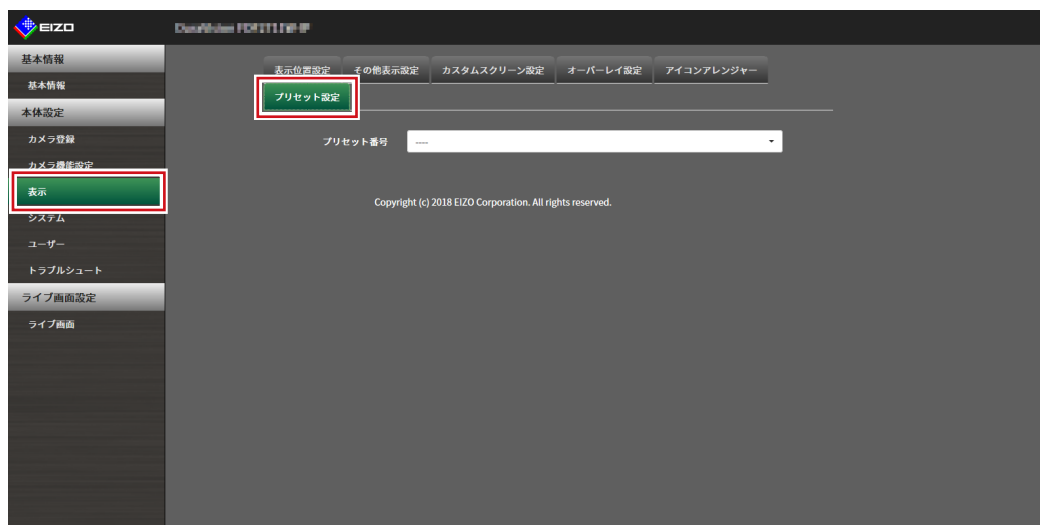
- この機能は、ソフトウェアのエディションが「エンタープライズ」の場合のみ使用することができます。ソフトウェアのエディションについては、「[3-10. ライセンス認証をおこなう](#)」(P.27)を参照してください。

参考

- プリセットは7個まで保存できます。

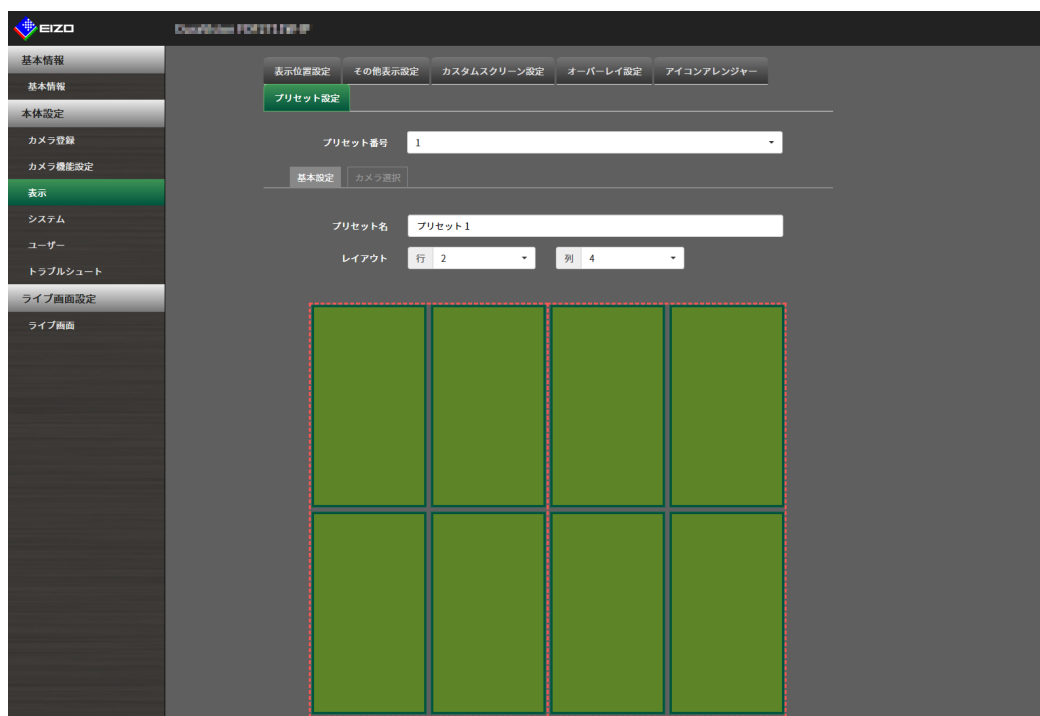
1. 「表示」の「プリセット設定」を選択します。

「プリセット設定」画面が表示されます。



2. 「プリセット番号」で設定するプリセット番号を選択します。

選択したプリセットの設定画面が表示されます。



3. 「基本設定」タブの「プリセット名」でプリセットの名前を設定します。

項目	内容	設定範囲
プリセット名	プリセットの名前を入力します。	英数字、かな ^{※1} 、漢字 ^{※1} （16文字まで）

※1 Webブラウザで表示の場合のみ設定できます。

4. 「行」および「列」の数をリストボックスから選択します。

選択した行数および列数に応じた画面に変化します。

5. カメラの表示位置を選択し、ドラッグして連結する表示位置へドロップします。

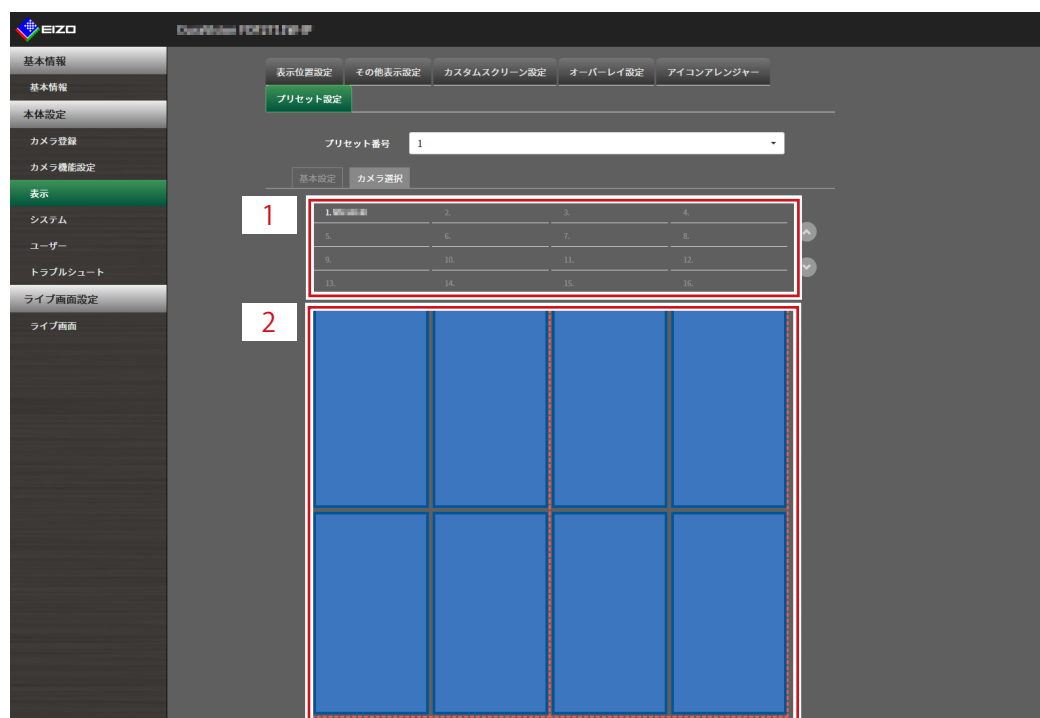
選択した表示位置が連結されます。

参考

- 連結を解除するには、連結した表示位置をクリックします。または、行および列をリストボックスで変更します。

6. 「適用」を選択します。

7. 「カメラ選択」タブを選択します。



No.	説明
1	カメラ選択エリア
2	カメラ配置エリア

8. カメラ選択エリアまたはカメラ配置エリアで設定するカメラをドラッグし、カメラ配置エリアの配置したい位置にドロップします。

参考

- カメラ選択エリアで設定するカメラをクリックすると、カメラ配置エリアの空いている位置に配置されます。
- 移動先に別のカメラが配置されている場合は、カメラの位置が入れ替わります。
- 設定を解除する場合は、カメラ配置エリアからカメラ選択エリアにドラッグ＆ドロップします。

9. 「適用」を選択します。

5-6. オーバーレイを設定する

ライブ画面のカメラ映像上にプライバシーマスクやバーチャルラインを表示することができます。

1. 「表示」の「オーバーレイ設定」を選択します。

「オーバーレイ設定」画面が表示されます。

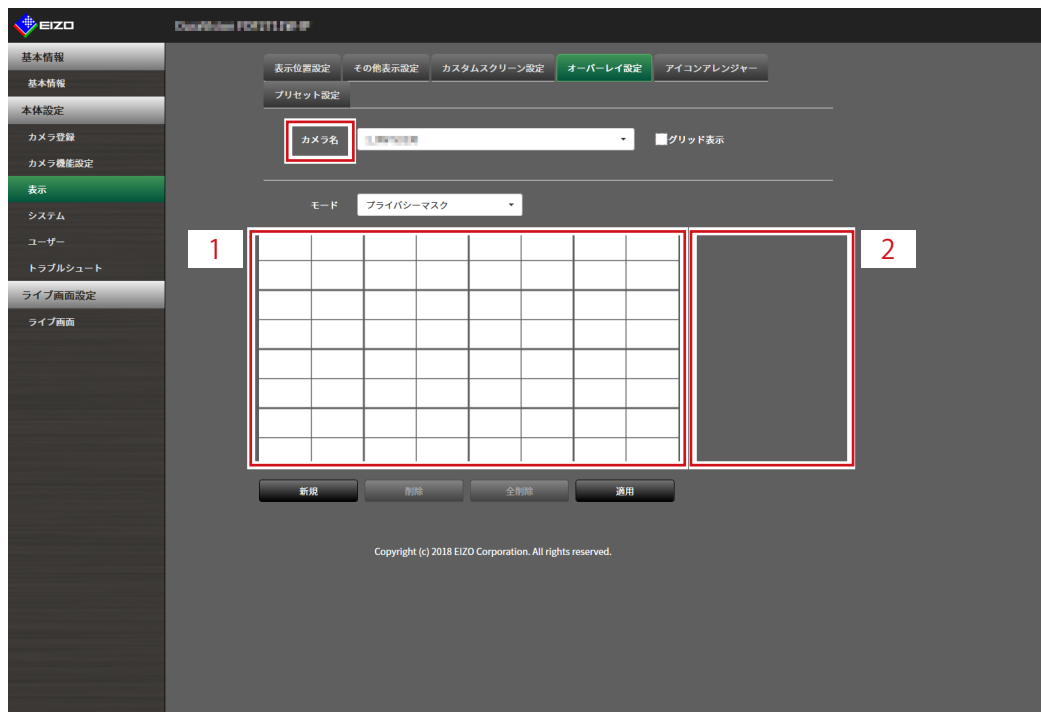


2. 「カメラ名」で設定するネットワークカメラを選択します。

選択したネットワークカメラの設定画面が表示されます。

参考

- 「グリッド表示」にチェックを入れるとライブ画面のカメラ映像上にグリッドが表示されます。この機能は Web ブラウザで表示の場合のみ設定できます。
- アプリケーション画面の場合、描画エリアにネットワークカメラのカメラ映像が表示されます。



No.	説明
1	描画エリア
2	一覧エリア

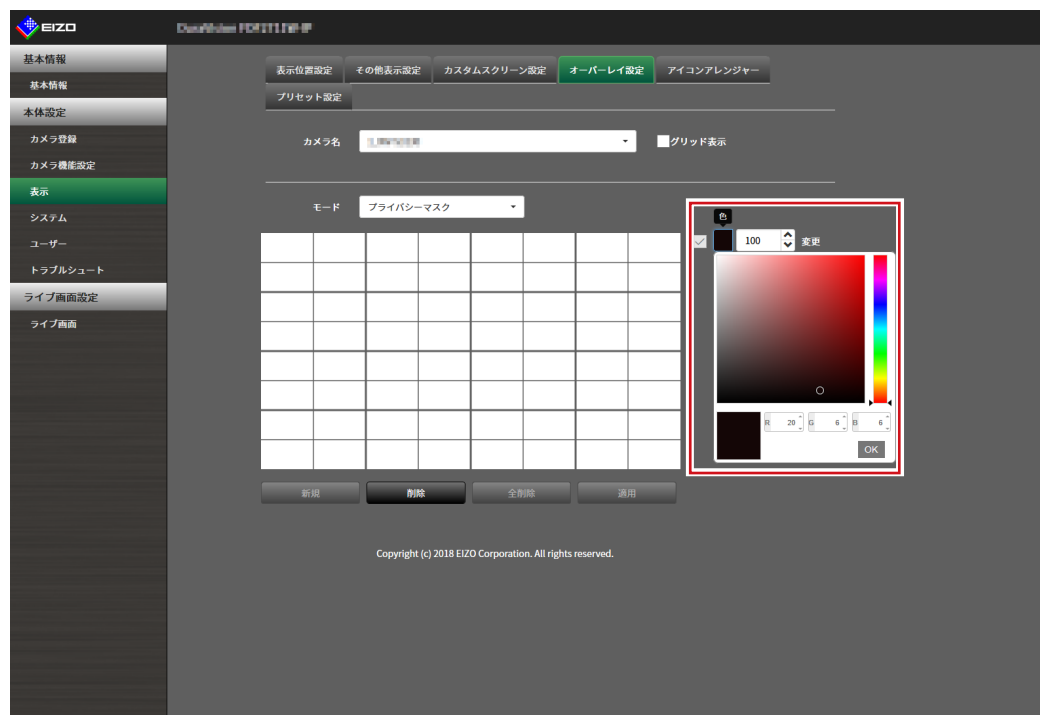
3. 「モード」で設定するオーバーレイの種類を選択します。

項目	内容
プライバシーマスク	最大10個までのプライバシーマスクを設定できます。 描画エリアで3点または4点を指定して、多角形のプライバシーマスクを描画します。
バーチャルライン	最大10個までのバーチャルラインを設定できます。 描画エリアで2点～10点を指定して、バーチャルラインを描画します。

4. 「新規」を選択します。

一覧エリアに新しいオーバーレイ項目が追加されます。

5. オーバーレイの各項目を設定します。



項目	内容	設定範囲
チェックボックス	オーバーレイの表示 / 非表示を切り替えます。	-
色	カラーパレットから色を選択します。	-
非透過率※1	非透過率を選択します。	0～100
太さ※2	線の太さを選択します。	1～12

※1 プライバシーマスクのみの項目です。

※2 バーチャルラインのみの項目です。

6. 描画エリアにオーバーレイを描画します。

7. 「適用」を選択します。

オーバーレイが描画エリアに表示されます。

参考

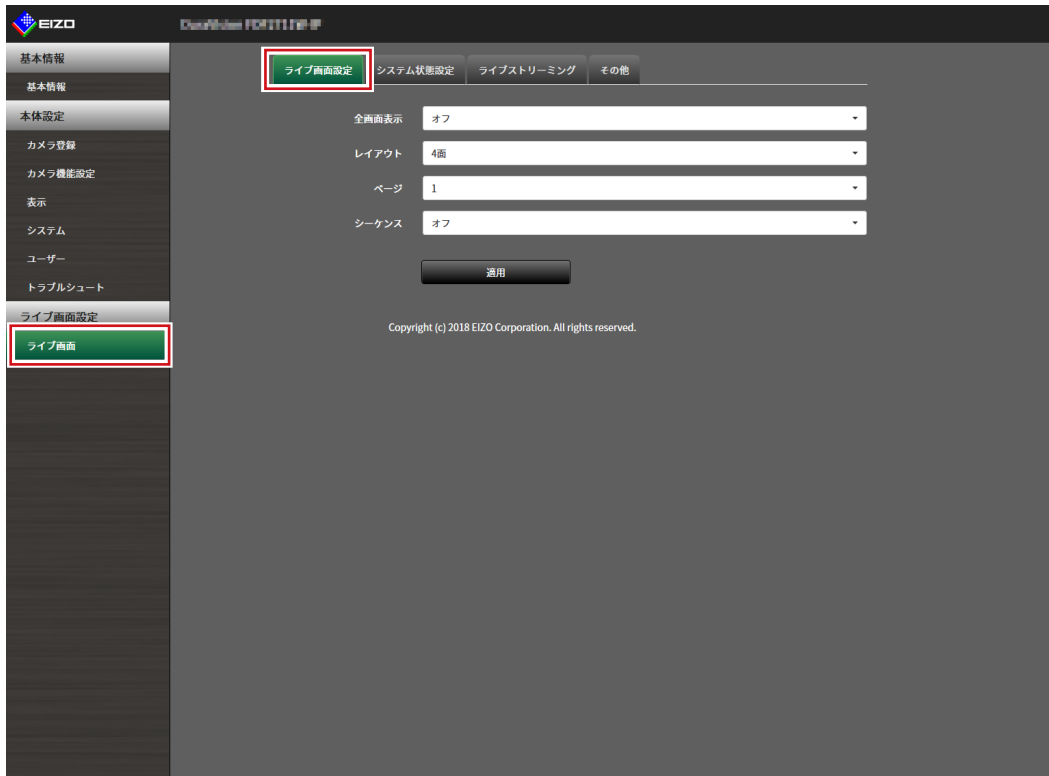
- 特定のオーバーレイは、次の手順で削除できます。
 - 描画エリアで削除したいオーバーレイを選択します。
一覧エリアの選択したオーバーレイ項目に「選択」と表示されます。
 - 「削除」を選択します。
 - 「適用」を選択します。
- 「全削除」を選択すると、すべてのオーバーレイが削除されます。

5-7. ライブ画面の表示方法を設定する

ライブ画面のレイアウト変更など表示の設定をおこないます。

1. 「ライブ画面」の「ライブ画面設定」を選択します。

「ライブ画面設定」画面が表示されます。



2. 各設定項目をリストボックスから選択します。

項目	内容	設定範囲
全画面表示	ライブ画面にメニューを表示する / しないを設定します。	オン / オフ
レイアウト	ライブ画面に表示するレイアウトを設定します。	1面 / 3面 / 4面 / 9面 / 16面 / 32面 / 8面 / カスタムスクリーン
ページ	モニターに表示するカメラ映像のページを切り替えます。	1 ~ 48
シーケンス	ページシーケンス表示のオンまたはオフを切り替えます。	オン / オフ

3. 「適用」を選択します。

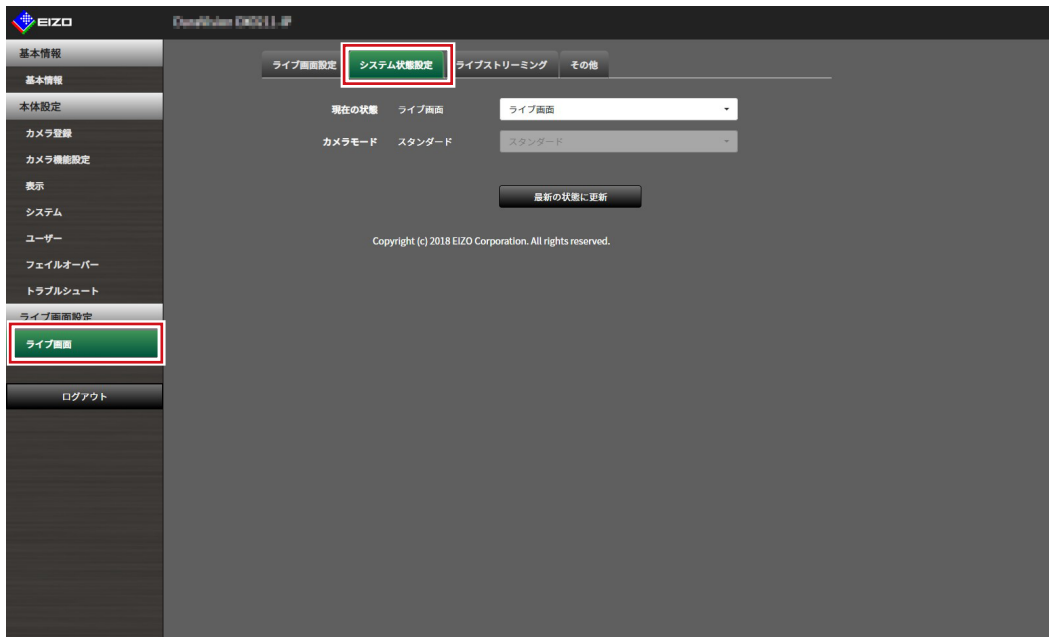
設定完了画面が表示されます。

4. 「OK」を選択します。

5-8. 現在のモニター表示の状態を設定する

1. 「ライブ画面」の「システム状態設定」を選択します。

「システム状態設定」画面が表示されます。



2. 「現在の状態」の▼をクリックし、リストから状態を選択します。

項目	内容
ライブ画面	モニター画面がライブ画面を表示している状態
クイック電源オフ	電源がOFFの状態
設定画面	モニター画面が設定画面を表示している状態
	注意点 ・「現在の状態」を「設定画面」に変更することはできません。「設定画面」からその他の状態に変更することはできます。

参考

- ・フェイルオーバー機能が有効で、かつ、「現在の状態」が「ライブ画面」の場合、「カメラモード」の選択が有効になります。「フェイルオーバー」を選択するとフェイルオーバー用に設定したネットワークカメラを表示できます。
- ・「最新の状態に更新」をクリックすると、現在のモニターの状態を取得します。
- ・アプリケーション画面の場合、「最新の状態に更新」のみ表示されます。

5-9. ライブストリーミングを確認する

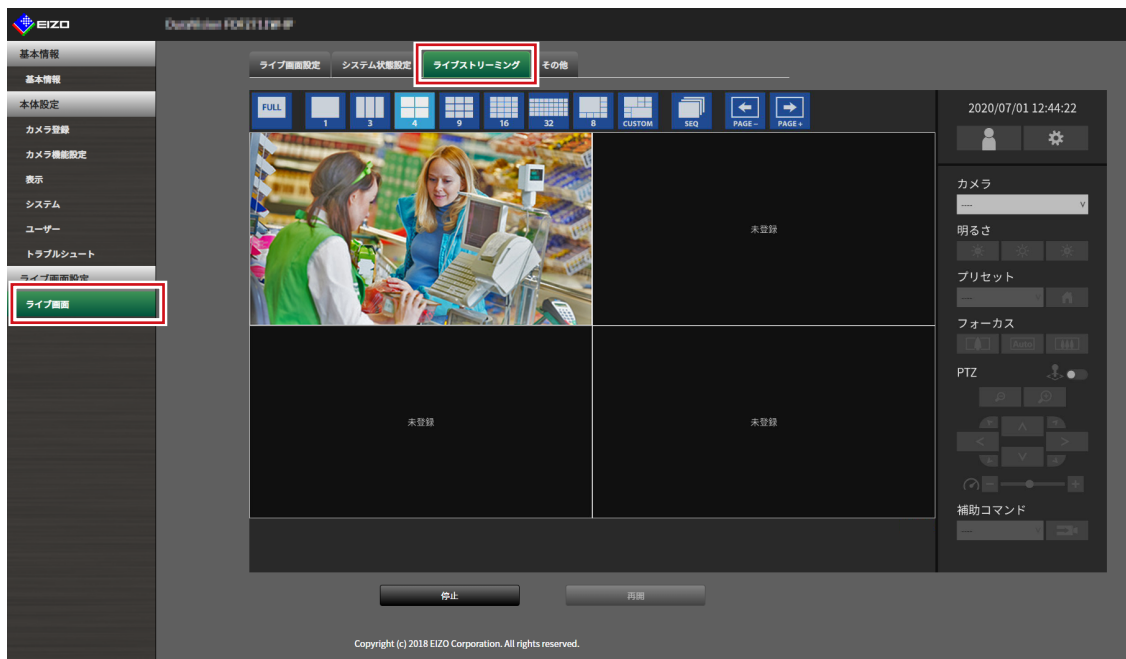
現在のライブ画面の表示をWebブラウザから動画で確認できます。

注意点

- この機能は、ソフトウェアのエディションが「エンタープライズ」の場合のみ使用することができます。ソフトウェアのエディションについては、「[3-10. ライセンス認証をおこなう](#)」(P.27)を参照してください。
- この機能を同時に使用できるユーザーは2人までです。

1. 「ライブ画面」の「ライブストリーミング」を選択します。

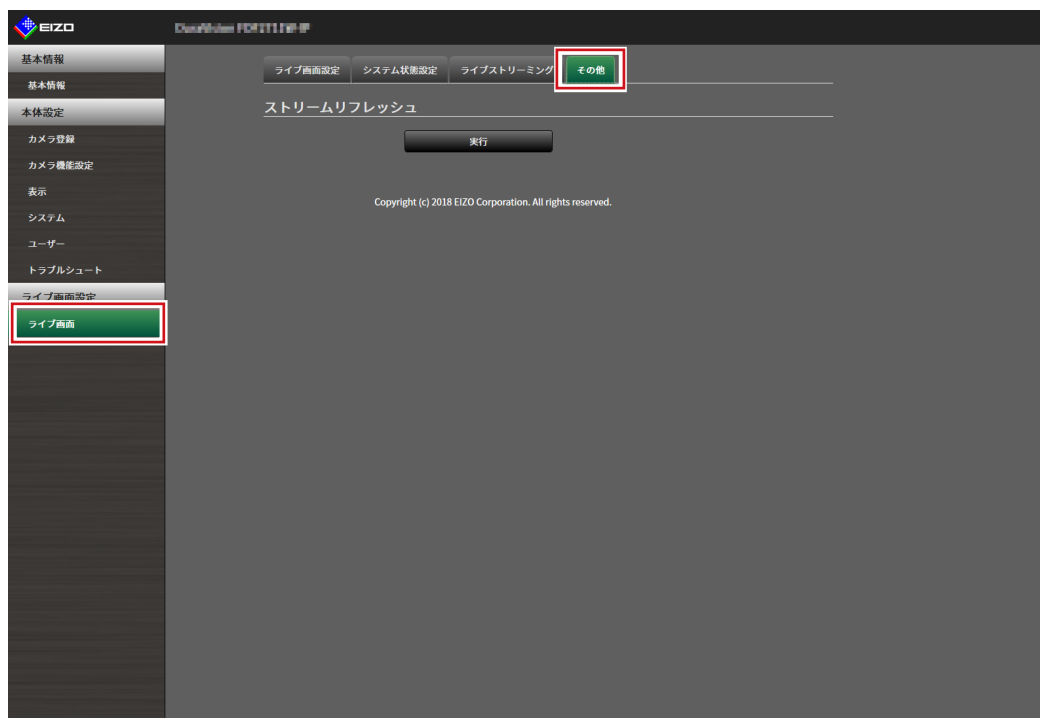
ライブ画面が動画で表示されます。「停止」をクリックすると動画が停止し、「再開」をクリックすると動画が再生されます。ライブストリーミングの表示をダブルクリックすると、全画面表示に切り替えることができます。



5-10. ライブストリーミングをリフレッシュする

ライブストリーミングの表示を最新の状態に更新します。

1. 「ライブ画面」の「その他」を選択します。



2. 「実行」を選択します。

第6章 ユーザーアカウントの管理

システムにアクセスするユーザーアカウント（ユーザー名、ユーザーレベル、パスワード）を登録、変更、削除したり、自動ログインの設定をおこなったりします。

注意点

- ユーザーアカウントは10名まで登録できます。10名を超えると、新規にユーザー情報を登録することはできません。
- 登録済みユーザーアカウントと同じユーザー名は登録できません。
- ユーザーレベルが「ADMIN」のユーザーを1名以上登録する必要があります。

参考

- ユーザーレベルには「LIVE」、「CAMERA CONTROL」および「ADMIN」があります。それぞれのレベルでこの製品を操作できる範囲が異なります。

(○：操作可、-：操作不可)

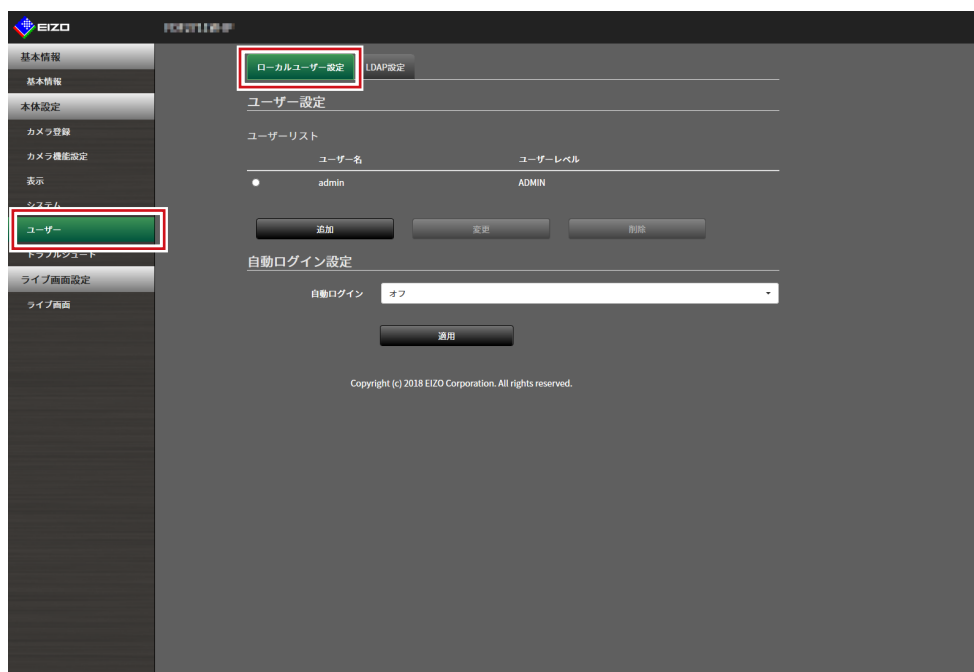
レベル \ 操作	表示メニュー	システムメニュー		カメラ画像の表示位置の入れ替え
		ログイン操作	システム設定	
LIVE	○	○	-	-
CAMERA CONTROL	○	○	-	○
ADMIN	○	○	○	○

- 初期設定のユーザーアカウントは次のとおりです。
 - ユーザー名: 「admin」
 - パスワード: 「admin」
 - ユーザーレベル: 「ADMIN」

6-1. ユーザーアカウントを登録する

1. 「ユーザー」の「ローカルユーザー設定」を選択します。

「ローカルユーザー設定」画面が表示されます。



2. 「追加」を選択します。

ユーザーアカウントを設定するダイアログボックスが表示されます。



ユーザー名

ユーザーレベル

パスワード

パスワード (確認)

ユーザー名は以下の条件を満たすように設定してください。

- 1文字以上、16文字以下
- 英数記号文字のみ
- 文字 # & : " < > \ を含まない

パスワードは以下の条件を満たすように設定してください。

- 8文字以上、16文字以下
- 1文字以上の数字
- 1文字以上の英大文字および英小文字
- 文字 \ を含まない

OK キャンセル

3. ユーザーアカウントを設定します。

項目	説明
ユーザー名	ユーザー名を入力します。 ユーザー名は以下の条件を満たしてください。 • 8文字以上、16文字以下 • 英数記号文字のみ • 文字 # & : / < > \ を含まない 以下のユーザー名は設定できません。 • 「.」, 「..」, 「auto-login」
ユーザーレベル	「LIVE」、「CAMERA CONTROL」および「ADMIN」を選択します。 それぞれのレベルでこの製品を操作できる範囲が異なります。
パスワード	パスワードを指定します。 パスワードは以下の条件を満たしてください。 • 8文字以上、16文字以下 • 1文字以上の数字 • 1文字以上の英大文字および英小文字 • 文字 \ を含まない
パスワード (確認)	確認のために、同じパスワードを再度入力します。

4. 「OK」を選択します。

設定完了画面が表示されます。

5. 「OK」を選択します。

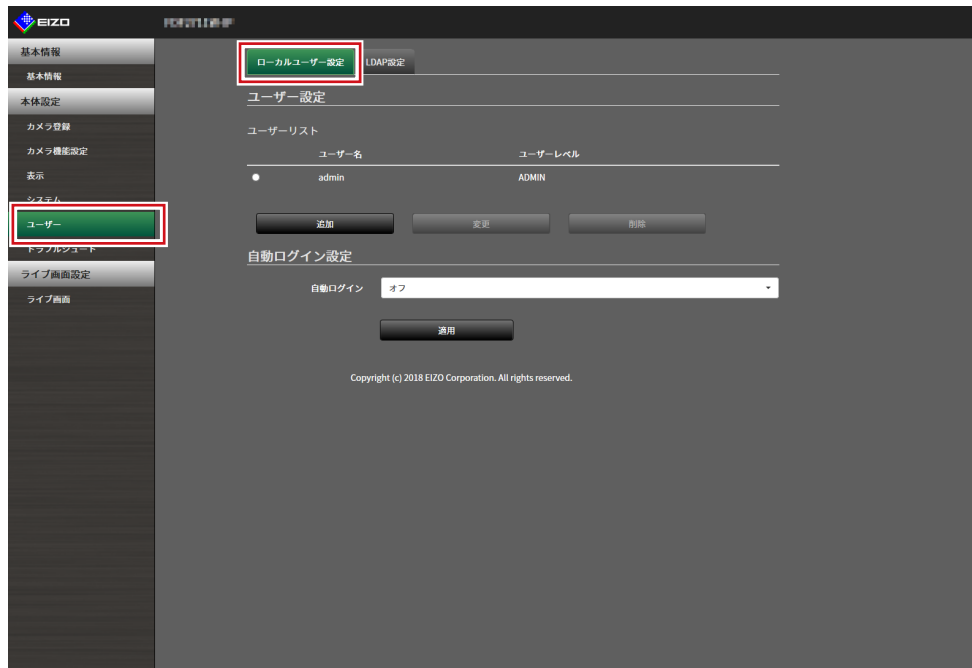
6-2. ユーザーアカウントを変更する

注意点

- ・「ユーザーアカウント」で「LDAP」を選択した場合はこの機能を使用できません。詳細は、「[6-5. LDAP設定をおこなう](#)」(P.85)を参照してください。

1. 「ユーザー」の「ローカルユーザー設定」を選択します。

「ローカルユーザー設定」画面が表示されます。



2. 変更するユーザーを「ユーザーリスト」から選択します。

3. 「変更」を選択します。

ユーザー情報を入力するダイアログボックスが表示されます。

4. ユーザー情報を変更します。

5. 「OK」を選択します。

設定完了画面が表示されます。

6. 「OK」を選択します。

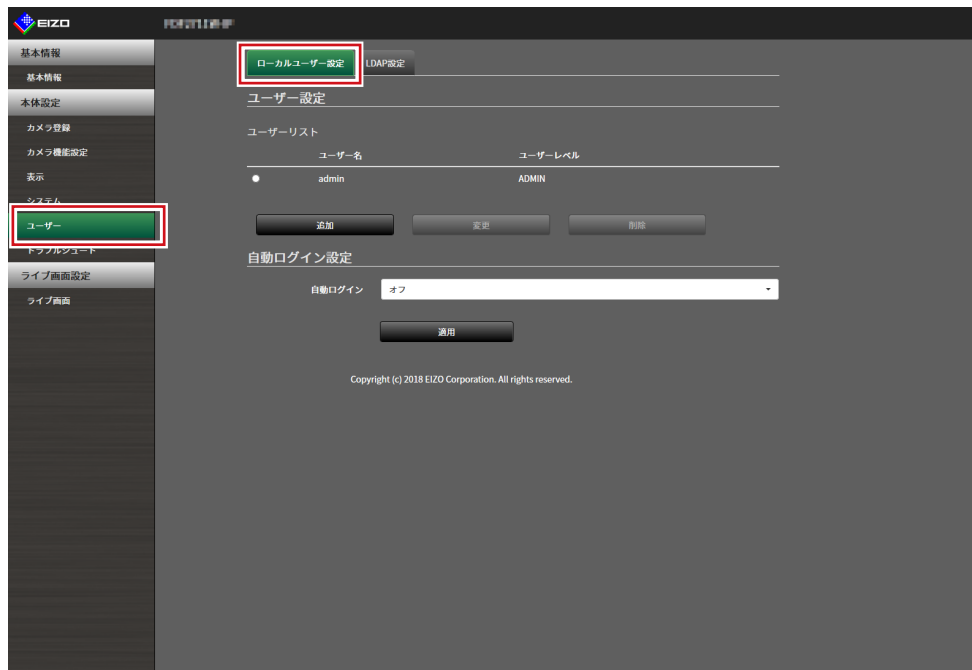
6-3. ユーザーアカウントを削除する

注意点

- ・「ユーザーアカウント」で「LDAP」を選択した場合はこの機能を使用できません。詳細は、[「6-5. LDAP設定をおこなう」](#) (P.85) を参照してください。

1. 「ユーザー」の「ローカルユーザー設定」を選択します。

「ローカルユーザー設定」画面が表示されます。



2. 削除するユーザーを「ユーザーリスト」から選択します。

3. 「削除」を選択します。

「ユーザーXXXを削除してもよろしいですか？」の確認ダイアログボックスが表示されます。

4. 「OK」を選択します。

削除しない場合は「キャンセル」を選択してください。

「設定完了」のダイアログボックスが表示されます。

5. 「OK」を選択します。

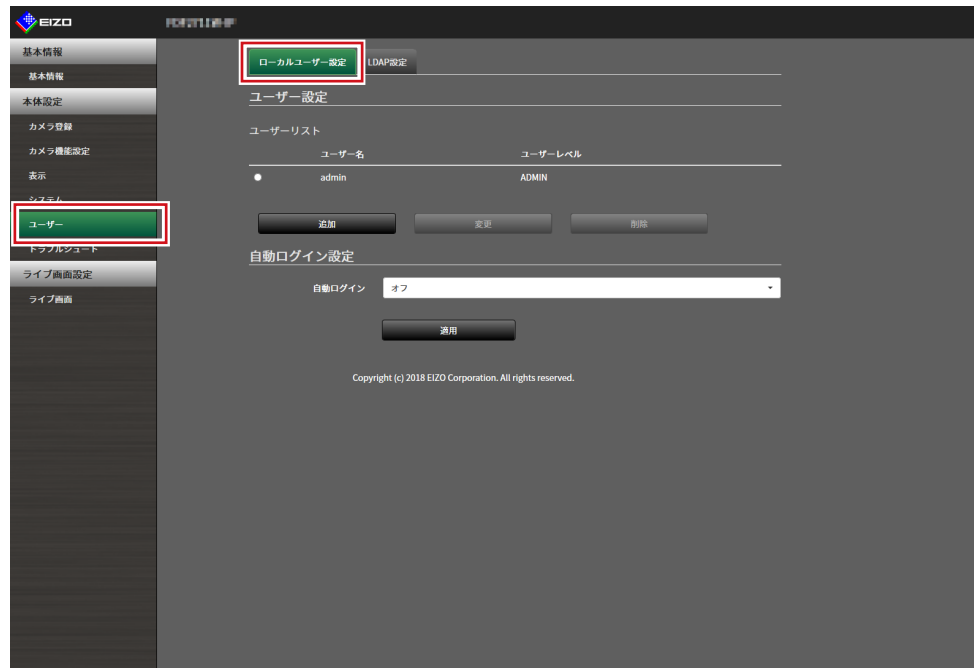
6-4. 自動ログインの設定をおこなう

注意点

- ・「ユーザーアカウント」で「LDAP」を選択した場合はこの機能を使用できません。詳細は、「[6-5. LDAP設定をおこなう](#)」(P.85)を参照してください。
- ・自動ログインの設定をおこなうと、悪意を持った第三者による不正操作が簡単にできるようになります。設定はセキュリティが十分に確保されている環境での使用に限定してください。

1. 「ユーザー」の「ローカルユーザー設定」を選択します。

「ローカルユーザー設定」画面が表示されます。



2. 自動ログインを設定するユーザーを「自動ログイン」リストボックスから選択します。

3. 「適用」を選択します。

設定完了画面が表示されます。

4. 「OK」を選択します。

6-5. LDAP設定をおこなう

ユーザー管理にディレクトリサービス(LDAP)をお使いの場合、LDAPサーバー上のユーザーアカウントを利用してこの製品にログインできます。

注意点

- この機能は、ソフトウェアのエディションが「エンタープライズ」の場合のみ使用することができます。ソフトウェアのエディションについては、「[3-10. ライセンス認証をおこなう](#)」(P.27)を参照してください。
- 「ユーザーアカウント」を「LDAP」に設定すると、ローカルユーザーによるログインは出来なくなります。
- WebブラウザによるアクセスはユーザーレベルがADMINのアカウントのみ可能です。
- LDAP設定を間違うとこの製品へのログインが出来なくなります。このためLDAP設定を適用する前に、ログインテストでユーザーレベルがADMINのユーザーアカウントでログインできることを確認してください。

1. 「ユーザー」の「LDAP設定」を選択します。

「LDAP設定」画面が表示されます。

2. 「ユーザーアカウント」の「タイプ」から「LDAP」を選択します。

参考

- 「ログインダイアログでアカウントタイプを選択する」にチェックを入れると、製品本体でログインする際、アカウントタイプを選択することが可能です。

3. LDAP設定をおこないます。

LDAP設定

項目	内容	設定範囲
サーバーアドレス	LDAPサーバーのIPアドレスまたはホスト名を入力します。	英数字、記号（255文字まで）
ポート	ポート番号を入力します。	1 ～ 65535※1
ベースDN	検索するブランチの識別名を入力します。 例：ou=ldap,dc=example,dc=com	英数字、記号（255文字まで）
バインド DN	ベースDNへのアクセス権を持つユーザー名を入力します。 例：cn=binduser,ou=ldap,dc=example,dc=com	英数字、記号（255文字まで）
バインドパスワード	バインドDNのパスワードを入力します。	英数字、記号（255文字まで）
ユーザー名の属性	ログインしたいユーザーアカウント名の属性を入力します。 例：cn	英数字、記号（255文字まで）
SSL	SSL通信(LDAPS)をおこなう場合にチェックをいれます。	-
証明書の検証	証明書の検証をおこなう場合にチェックをいれます。 注意点 ・ 証明書の検証を行う場合、LDAPサーバーのルート証明書が、この製品の「証明書設定」の「ルート証明書」に登録されている必要があります。	-

※1 LDAPの場合は389、LDAPSの場合は636が標準的なポート番号です。

検索フィルター設定

項目	内容	設定範囲
ADMINユーザーフィルター	ADMINアクセス権のユーザーのフィルターを設定します。 例： (memberOf=cn=admin,ou=ldap,dc=example,dc=com)	英数字、記号（255文字まで）
CAMERA CONTROLユーザーフィルター	カメラ制御アクセス権を有効にする場合にチェックをいれ、フィルターを設定します。	-
LIVEユーザーフィルター	LIVEアクセス権を有効にする場合にチェックをいれ、フィルターを設定します。	-

4. 「ログインテスト」をおこないます。

「ユーザー名」と「パスワード」を入力し、「テスト」を選択します。
ログインテストが実行されます。

5. 「適用」を選択します。

第7章 こんなときは

7-1. 画面に関する症状

症状	原因と対処方法
1. モニターに画面が表示されない	・ モニターの電源が入っているか確認してください。 ・ HDMIケーブルが正しく接続されていますか。 モニターの入力信号が、HDMI入力となっていますか。
2. 映像がカクカクとした表示になる / カメラ映像が表示されない	・ ネットワークカメラの解像度やビットレートを下げてみてください。 (「4-8. 配信映像の画質を設定する」 (P.62) 参照) ・ 情報伝送量に応じたハブとネットワークケーブルを使用しているか確認してください。 ・ 設定画面に移動後、再度ライブ画面に戻ってみてください。
3. 製品本体の  を押すか、リモコンのPOWERを押して電源投入した後、約30秒間、ライブ画面にカメラ映像が正しく表示されない。	・ 主電源を切った後すぐに再度主電源を入れると、最初の数分間映像が正しく表示されないことがあります。 数分後に正常に復帰します。
4. ネットワークカメラの時間とシステムの時間が一致していない (カメラ映像表示時)	・ 設定画面で、ネットワークカメラの時刻をこの製品の時刻に合わせてください。 (「4-7. ネットワークカメラの時刻を設定する」 (P.61) 参照)

症状	原因と対処方法
5. カメラ映像表示エリアにエラー「E**-**」が表示される	• 通信失敗（E01-**）の場合 - ネットワークカメラの同時接続数を超えている可能性があります。 - カメラへアクセスしている他のネットワーク機器の接続を切るか、カメラの解像度を下げてみてください。 （「4-8. 配信映像の画質を設定する」（P.62）参照） • 通信失敗（E02-**）の場合 - ネットワークケーブルは正しく接続されていますか。 - ネットワークカメラの電源は入っていますか。 - カメラのユーザー名、パスワードをシステムに正しく設定しましたか。 - 製品、ネットワークカメラのIPアドレスが重複していませんか。 - 「証明書の検証」が有効の場合、証明書の有効期限などが正しいですか。（「3-12. 証明書の設定をおこなう」（P.31）参照） • 通信失敗（E03-**）の場合 - ネットワーク帯域が圧迫しているか、この製品の表示性能を超えている可能性があります。 - ネットワークカメラの解像度やビットレートを下げてみてください。 （「4-8. 配信映像の画質を設定する」（P.62）参照） • 非対応解像度（E04-**）の場合 - 映像の解像度が、この製品で表示できない可能性があります。 - ネットワークカメラの解像度を変更してみてください。 • 圧縮形式の不一致（E05-**）の場合 - ネットワークカメラから配信されるストリーミングの形式が、この製品と異なっている可能性があります。 - カメラおよびこの製品の設定を確認後、この製品を再起動してください。 • 不正なパラメータ（E06-**）の場合 - Multicastの設定値が正しく設定されていない可能性があります。カメラの設定を確認してください。 • ネットワーク接続エラー（E07-**）の場合 - この製品にLANケーブルが接続されていないなど、ネットワークが接続されていない可能性があります。 - ネットワーク接続を確認してください。 • E08-** - ネットワークカメラのプロトコルを使用するためのライセンスがありません。ライセンスを確認してください。

7-2. 設定に関する症状

症状	原因と対処方法
1. ログインできない	・ユーザー名とパスワードを再度入力してみてください。 ・リセットボタンでアカウント情報をリセットし、初期設定のアカウントでログインしてください。（「セットアップマニュアル」参照）
2. 複数チャンネルに対応しているビデオエンコーダで、カメラ1台分しか認識されない	・使用するチャンネル数分、手動で登録してください。（「4-2. ネットワークカメラを手動で登録する」（P.52）参照）
3. ネットワークカメラの手動登録で「適用」を選択しても通信エラーとなる	・ネットワークカメラと通信できていない場合があります。ネットワークの接続状況やカメラの登録内容を確認してください。
4. 新規ユーザーを登録できない	・登録済みユーザーと同じユーザー名は登録できません。 ・登録可能なユーザーは10名までです。すでに10名のユーザー情報を登録していないか確認してください。（「第6章 ユーザーアカウントの管理」（P.80）参照）
5. ユーザーを削除できない	・ユーザーレベルが「ADMIN」のユーザーは必ず1名必要です。「ADMIN」に登録されておるユーザーが1名の場合は削除できません。登録済みのユーザー情報を確認してください。（「第6章 ユーザーアカウントの管理」（P.80）参照）
6. カメラとの通信ができない	・ネットワークカメラの設定やシステムの設定を確認してください。詳細はシステム管理者にお問い合わせください。
7. 設定した日付と時間が正しく表示されない	・1週間以上電源に接続していないと、システムの日付と時間が正確に表示されなくなります。（「3-3. 現在の日付と時刻を設定する」（P.17）参照）
8. Webブラウザ画面を表示できない。	・同じネットワーク上の機器のIPアドレスが重複していないか確認してください。この製品を複数台同じネットワーク上に接続する場合、初期値のまま使用するとIPアドレスが重複することになります。ネットワーク設定については、「3-1. ネットワーク設定をおこなう」（P.13）を参照してください。

機能一覧

基本情報.....	P.11
システム情報	
カメラ・表示位置	
日時設定	
ネットワーク設定	
通信設定	
証明書設定	
その他システム設定	
イベントルール設定	
リモコン設定	
ユーザーアカウント設定※ ¹	
本体設定	
カメラ登録	
手動登録.....	P.52 / P.55
削除.....	P.57
カメラ情報の保存※ ²	P.58
カメラ情報の読み出し※ ²	P.59
自動検出.....	P.51
カメラ機能設定.....	P.61 / P.62
表示	
表示位置設定.....	P.67
その他表示設定.....	P.69
カスタムスクリーン設定.....	P.70
オーバーレイ設定.....	P.74
アイコンアレンジャー※ ¹	P.71
プリセット設定※ ¹	P.72
システム	
日時設定.....	P.17
ネットワーク設定.....	P.13
通信設定.....	P.15
証明書設定.....	P.31
802.1X設定※ ¹	P.36
SNMP設定.....	P.38
IPアドレスフィルター設定.....	P.40
リモコン設定.....	P.33
その他システム設定.....	P.19
メンテナンス	
初期化・再起動	
再起動.....	P.21
初期化.....	P.20
ソフトウェア更新※ ²	P.22
設定情報の移行	
設定情報の保存※ ²	P.24
設定情報の読み込み※ ²	P.25
ライセンス認証※ ²	P.27
イベントルール設定.....	P.28
ホットキー設定.....	P.34
ユーザー	
ローカルユーザー設定.....	P.80
追加.....	P.80
変更.....	P.82
削除.....	P.83
自動ログイン設定.....	P.84
LDAP設定※ ¹	P.85
フェイルオーバー※ ³	
フェイルオーバー設定.....	P.41
カメラ登録.....	P.42

カメラ機能設定	P.43
表示位置設定	P.44
オーバーレイ設定	P.45
プリセット設定	P.46
トラブルシューティング	
ログ表示	
操作ログ表示	P.36
システムログ表示	P.48
接続確認	P.49
ネットワーク接続状態	P.50
ライブ画面設定	
ライブ画面	
ライブ画面設定	P.71
システム状態設定	P.77
ライブストリーミング※1	P.78

※1 エディションが「エンタープライズ」の場合のみ使用可能です。

※2 Webブラウザで表示の場合のみ使用可能です。

※3 エディションが「エンタープライズ」で、かつ、拡張機能の「フェイルオーバー」が有効な場合のみ使用可能です。

付録

商標

HDMI、HDMI High-Definition Multimedia InterfaceおよびHDMIロゴは、HDMI Licensing, LLCの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

VESAはVideo Electronics Standards Associationの登録商標です。

Microsoft, Internet Explorerは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

Adobe, Acrobat, ReaderはAdobe Systems Incorporated（アドビ システムズ社）の米国およびその他の国における登録商標です。

ONVIFはONVIF Inc.の商標です。

Panasonic、i-proはパナソニック株式会社の登録商標です。

AXISはAxis ABのスウェーデンおよびその他の国における登録商標です。

EIZO、EIZOロゴ、ColorEdge、CuratOR、DuraVision、FlexScan、FORIS、RadiCS、RadiForce、RadiNET、Raptor、ScreenManagerはEIZO株式会社の日本およびその他の国における登録商標です。

ColorEdge Tablet Controller、ColorNavigator、EcoView NET、EIZO EasyPIX、EIZO Monitor Configurator、EIZO ScreenSlicer、G-Ignition、i・Sound、Quick Color Match、RadiLight、Re/Vue、SafeGuard、Screen Administrator、Screen InStyle、UniColor ProはEIZO株式会社の商標です。

その他の会社名、商品名およびロゴマークは各社の商標または登録商標です。

ライセンス

本書に使用の一部の画像は、マイクロソフトの許諾を得て使用しています。

この製品にはオープンソースソフトウェアが含まれています。

オープンソースソフトウェアのうちGPL（GNU GENERAL PUBLIC LICENSE）の条件にて利用許諾されるものが含まれる場合には、GPLの利用許諾条件に従い、当社は次のコンタクト情報宛てにコンタクトしてきた個人、団体に対し、お買い上げ後、少なくとも3年間、実費にてGPLソフトウェアに対応するソースコードを、CD-ROMなどの媒体により頒布いたします。

また、LGPL（GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE）の条件にて利用許諾されるものが含まれる場合についても、上述のGPLの場合と同様の手続きにてソースコードを頒布いたします。

コンタクト情報

www.eizo.co.jp/support/product/contact.html

GPL/LGPLその他に基づきライセンスされるオープンソースソフトウェアを除き、この製品に含まれるソフトウェアの譲渡、コピー、逆アセンブル、逆コンパイル、リバースエンジニアリングは禁じられています。また、この製品に含まれるすべてのソフトウェアの輸出法令に違反した輸出行為は禁じられています。

本製品は下記URLに掲載されている特許の1つ以上の請求項の権利範囲に含まれています。

patentlist.hevcadvance.com

